

平成二十年三月

特33

宮
本
文
庫
目
録

金沢市立玉川図書館

近
世
史
料
館

宮本文庫目録

凡 例

一、本目録は藩政後期、石川郡大河端村（現金沢市大河端町）の肝煎役および荷宿を勤めた（宮本）六右衛門家に伝えられた宮本家文書の目録である。本文書は「金沢市史」の編纂に伴う調査で所在が確認され、平成十五年十一月、現当主宮本登美男氏（大河端町）から近世史料館に寄贈されたものである。

一、宮本家文書は、「宮本文庫」の名称を付し、金沢市立玉川図書館近世史料館の三十三番目の文庫として利用に供する。なお、宮本家文書と内容の特色を持つ文書群として大河端町が所有する大河端区有文書があるが、本文庫には含まれていない。

一、目録の「年月日」は、いずれも不明の場合は「未詳」とし、月日等のみでも記し、年号が推定できるものについては（ ）を附した。差出・宛所は「差出」↓「宛所」で示した。文書以外の「形態」については材等を適宜記した。「形態」に続き記した数字は袋綴・横帳等の墨付丁数である。

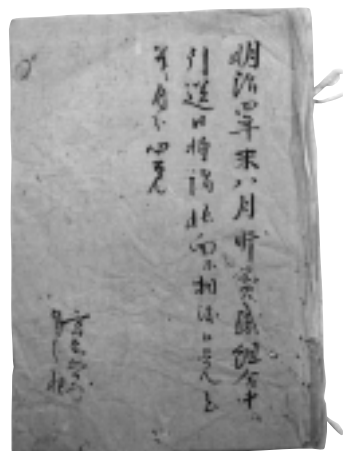
一、史料を目安として大項目・小項目により分類したが、多項目に亘る留帳類等は、藩政期のものは「1. 支配」に、明治期以降のものは「13. 宮本家」に配した。また、絵図類でも屋敷図など宮本家に関するものは「宮本家」に配した。

一、「13. 宮本家」の小項目「通信文」では標題を取らず差出・宛所を標題に代えた。

宮本家文書目録の編集・解説は小西昌志・見澤香織が担当し、史料整理および公開のための史料整備は、宇佐美孝、小島隆昭、中村栄、高澤裕一、屋敷道明、高柳陽介、角谷宗士、吉田昭代、徳光佐栄子、河崎裕子および武田幸子（元当館職員）があたった。

目次

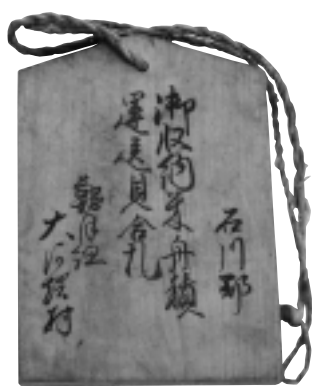
1	支配	御用／藩主等出行／ 村／諸事留帳類	1
2	土地・貢租	草高・上納等／ 小物成・夫銀・万雑／ 収納・御蔵・蔵宿／新開／ 持高等／土地売買	2
3	県・郡・村制	県・郡／村	8
4	戸口	人別帳／送り状等	12
5	災害・救恤	災害／救恤／変地	13
6	土木	川除・用水／道路・橋／ 人足等	13
7	産業	農業／漁業／鉱業／ 製造業	14
8	金融・貸借		15
9	水運		17
10	宗教	仏教／神道	22
11	地理・地誌・ 紀行	郷土資料／道中記・諸国名所／ 世界図・日本図／都市	23
12	学芸	教科書／学事／文芸／ 書画	25
13	宮本家	相続・家族構成等／儀礼／ 証書類／屋敷図／作事／ 訴訟／通信文／赤十字／ 預貯金等／日記類／ 衣食住等諸品金銭遣取／ 道具類	28
14	絵図		38
	解説		39



肝煎職引送二付諸帳面等渡覚書并二自分心覚 (1-29)

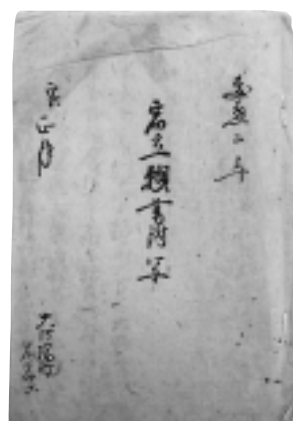


(2-26)

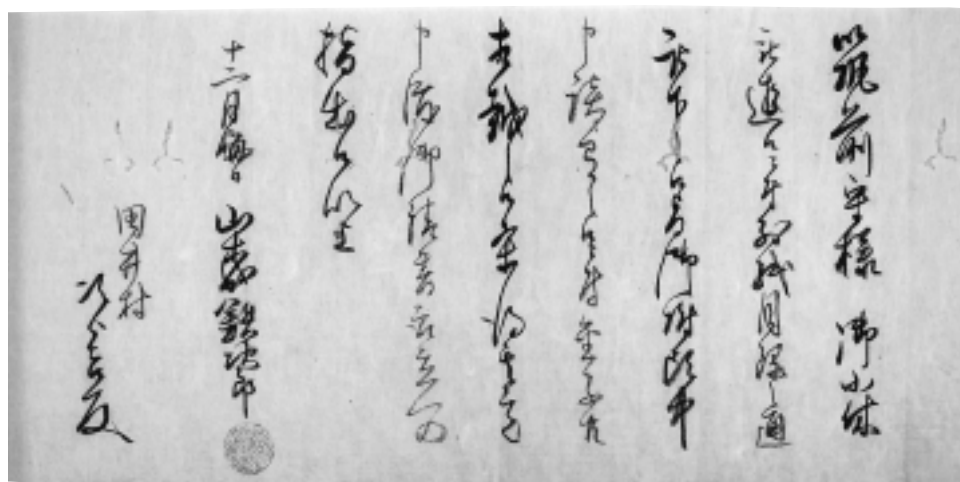


(9-26)

見合札



宿立願書附写 (9-8)



筑前守様御小休二付達 (1-15)



御草履 (1-16)



御地頭割 (2-27)



御収納米請取通 (2-30⑤)



通信文 (13-116①)

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
1 支 配				
1	御 用 粟ヶ崎御亭修覆ニ付荷物馬差出達	(嘉永2年)西4月14日	切紙	1
2	藤井宇右衛門↓大河端村肝煎方 御用宿飯代等払方相記帳	文久2年2月	袋綴6	1
3	石川郡大河端村 卯春ヨリ製造所御奉行所人々名書	(慶応3年)卯	切紙	1
4	製造所御用聞申渡	(慶応3年)卯6月25日	切続紙	1
5	脇本定之進↓行山宝次郎(奥書1)行山宝次郎↓田辺次郎吉 (奥書2)田辺次郎吉↓大河端村肝煎六右衛門	慶応4年4月	一紙	1
6	御吹炭并御遣炭買揚願	明治2年正月	袋綴29	1
7	大河端村六右衛門↓製造所御入用方御役所 諸役所書上等御用留帳	明治2年10月19日	続紙	1
8	所口鑄砲局御役所届御用炭并運賃約定	明治2年	長帳4	1
9	能州中島村川村屋又八・木ノ下屋田右衛門↓大河端村六右衛門 兵器局御用諸品駄賃算用帳(明治2年)巳11月 大河端村六右衛門	巳3月17日	一紙	1
10	田辺次郎吉↓大河端村肝煎六右衛門 打杭普請入形見届方御用出役ニ付案内	申4月8日	切紙	1
11	諸江村藤右衛門等↓三口・大川端村々肝煎中 高張御用ニ付伐木之事覚	8月22日	切紙	1
12	初代徳兵衛 上々炭不送通達及銀子借用願	9月15日	一紙	1
13	富来寺井文平↓大河端村宮本六郎右衛門 河北郡若緑村権兵衛御境地并御林等伐木方御用手伝役申渡	5月10日	切紙	1
14	御算用場↓行山宝次郎 製造所御用札 沓番ノ拾番	(奥書)行山宝次郎↓田辺次郎吉・□□村弥右衛門 未詳	木札	9
15	藩主等出行 筑前守様御小休ニ付達	(安政6年)12月晦日	切紙	1
16	山森鉄次郎↓田井村次郎吉 御草履	弘化3年5月13日	草履	1
17	御鷹御用ニ付案内 川嶋榮三郎↓大河端村肝煎中	丑9月18日	切紙	1
18	御殿様・豊之丞様・筑前守様御拵掛并御小休覚	大河端村肝煎六右衛門(慶応2年)寅2月	切続紙	1
19	たい有院様・中納言様・若殿様御小休等覚	仁兵衛↓肝煎六右衛門 未詳	切紙	1
20	若殿様・三つノぜう様・中納言様・筑前守様・多慶若様	御小休覚 未詳	切続紙	1
21	御脇息	未詳	脇息	1

番号 標 題 年 月 日 型態 墨付 点数

村

22 嘉永五年分算用帳 嘉永6年正月 袋綴8 1

鞍月組大河端村

23 嘉永五歳分算用帳雛形 嘉永6年正月 袋綴5 1

大河端・北間・須崎・西蚊爪

24 嘉永六年分算用帳控 嘉永7年正月 袋綴6 1

大河端村

25 作物盗取二付近岡村等へ嚴重申渡願 丑7月3日 続紙 1

大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同八郎右衛門・同次郎右衛門↓御郡御奉行所

26 村入用銀等書上 寅年(卯) 長帳2 1

大河端村調理項目書上

27 諸入用銀書上 未詳 切続紙 1

28 肝煎職引送二付諸帳面等渡覚書并二自分心覚 未詳 長帳2 1

宮前六右衛門 明治4年8月

諸事留帳類

30 諸事留帳 袋綴132 1

大河端村六右衛門

31 古田歩数事・去巳年付越米一件・一作割せき・御上普請水勺 嘉永6年正月(文久2年) 長帳8 1

午6月

32 去酉十二月借用米・戌七月万雜覚・汐除入用・御堂形一件 戌12月 長帳5 1

未詳

33 通留書・大福帳 横帳38 1

2 土地・貢租

草高・上納等

1 草高根帳 文化11年正月 袋綴13 1

大河端村肝煎六右衛門・組合頭次郎右衛門・同次兵衛御借上銀家数百拾壹軒分書上

2 御借上銀家数百拾壹軒分書上 安政4年5月 長帳4 1

3 大河端村上納通 安政5年2月 長帳2 1

鞍月組

4 大河端村現銀御払米・拝借銀・調達銀書上 切紙 1

大河端村 (安政6年)己未12月

5 大河端村上納銀通并米代銀受取 安政7年2月 長帳1 2

①鞍月組大河端村

6 大河端村上納銀通 4月25日 切紙 1

②田井御用所↓大河端村申

7 調達金請取 鞍月組 万延元年2月(12月晦日) 長帳2 1

田辺次郎吉↓大河端村伝右衛門 慶応4年3月27日 切紙 1

8 上納入附上覚 伊助↓肝煎六右衛門 午7月22日 長帳8 1

伊助↓肝煎六右衛門

9 上納入附上覚 伊助↓肝煎六右衛門 午12月8日 長帳13 1

伊助↓肝煎六右衛門

10 上納入附上覚 伊助↓肝煎六右衛門 午12月28日 長帳3 1

伊助↓肝煎六右衛門

11 割当銀書上(断簡) 午 折紙 1

上納入附上覚 未正月8日 長帳3 1

伊助↓肝煎六右衛門

伊助↓肝煎六右衛門

13	上納入附上覚并去年分上納取立	長帳7	1	27	御地頭割	石川郡鞍月組大河端村	天保13年11月	長帳7	1
14	伊助↓六右衛門 申七月拝借粃割符并二上附納斗高記	未8月22日・10月2日 長帳3	1	28	大河端村御收納米通	嘉永7年9月	安政6年12月	長帳2	1
15	六右衛門↓伊助 屎物代上納殘銀割符分取立	申10月 酉12月 長帳2	1	29	蔵宿過不足調理帳	安政6年12月	安政6年分	長帳15	1
16	御縮高作徳米取立	未詳 長帳4	1	30	御收納米請取通	大野屋市兵衛↓大河端村	折紙	7	
17	入米帳	未詳 長帳2	1		①中村十郎兵衛様 ②稻葉助五郎様分 ③加藤波江様分	松任屋幸助↓大河端村			
18	上納米・餅米代金等差引覚	未詳 切続紙	1		④武藤権太郎様分 ⑤井上三左衛門様 ⑥岡田雄次郎様分	松任屋幸助↓大河端村 北市屋六右衛門↓大河端村			
19	小物成・夫銀・万雜 万雜等銀子書上	(慶応4年)辰 折紙	1		⑦和田源次右衛門様分	鍋屋伊兵衛↓大河端村			
20	丑六月高打割并戸数懸り錢請取	丑6月27日 切紙	1	31	給米町蔵宿江斗納二付願下書	文久元年10月	切続紙	1	
21	村代弥右衛門↓ 六月打銀請取	戌7月3日 切紙	1	32	御收納米通	明治4年11月	長帳2	1	
22	御用所↓大河端村 春夫銀請取	辰3月27日 切紙	1	33	上米・式番米等數量堂形二而調理覚	折紙	1		
23	手代惣七↓大河端村 小物成取立	11月12日 切紙	1	34	丑九月大友ヨリ帰り高并御收納指引帳・蔵宿并御堂形入	子3月28日	長帳10	1	
24	御用所↓大河端村肝煎六右衛門 春夫銀受取書紛失二付御皆済狀御渡願	未詳 切紙	1	35	御堂形納米人別割当算用覚	丑	長帳4	1	
25	百姓源右衛門↓ 收納・御蔵・蔵宿	切紙	1	36	御收納皆済二付酒下賜狀	酉正月	切紙	1	
26	田辺次郎吉↓大河端村百姓中 金沢蔵宿斗升増御焼印見合札	(天保12年)丑閏正月 木札	1	37	不時御用精勤二付褒賞金下賜狀	亥正月	切紙	1	
27				38	↓大河端村肝煎六右衛門 蔵宿間米(蔵宿通)	未詳	折紙	1	

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
39	給人知収納米通 〔嶋田様 油や通控〕	未詳	折紙	1
40	給人知収納米通 ①不破・稲葉 ②成瀬 中村 ③中村・稲葉 ④岡田・成瀬 ⑤嶋田	未詳	折紙	5
41	新開高入用覚并粟崎地子米書上等	慶応元年12月	長帳 4	1
42	木谷藤右衛門等持高惣田不湖切高の上新開仰付願	(慶応2年) 寅4月	続紙	1
43	惣田不湖新開ニ付地主・小作出入詮議願 次郎右衛門↓新田才許所中		続紙	1
44	惣田不湖新開地小作方卸付願 石川郡大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛↓新 田才許中	(慶応2年) 寅4月	続紙	1
45	惣田不湖新開出入ニ付始末達書 小作惣代大河端村百姓佐次右衛門・同肝煎・同組合頭↓御改 作御奉行所	(慶応2年) 寅6月17日	続紙	1
46	持高等田地調帳	明治18・20・24・25・27・31年度	長帳 77	1
47	当春開作方縮帳控 〔持高・引地調べ、鬭替田地割・手作・卸附歩数調べ・卸附年 貢米調べ取立等〕	嘉永6年正月	袋綴 29	1
48	市左衛門持高覚	未詳	折紙	1
49	六右衛門持高銀換算	未詳	切紙	1
50	持歩等書上	未詳	折紙	1
51	人々旧歩調帳并人々旧歩々出帳 但明治三十二年度迄	明治36年7月	長帳 42	1
52	大河端区長宮本六右工門 宮六持歩書上(宮タ等)	未詳	切紙	1
53	高当り過分等歩数并石高算用未詳	未詳	切紙	1
54	の場仁三郎持高覚	未詳	切紙	1
55	(田地割) 敷地打立帳	文久2年2月中旬	横帳 29・35	2
56	申年浦々地割中間帳	申年	長帳 5	1
57	歩数等書上(川原島等)	未詳	切紙	1
58	打立帳(北浦割等)	未詳	横帳 11	1
59	打立帳(十六石等)	未詳	長帳 2	1
60	打立帳(中嶋割・孝浦割)	未詳	長帳 3	1
61	歩数書上断簡(孝浦割等)	未詳	切紙	3
62	歩数書上(中ふ作・北平割)	未詳	切紙	1

63	歩数書上断簡(八番わり等)	未詳	切紙	3	81	苗数算用	未詳	切紙	1
64	田畑万歩帳断簡	明治13年3月	切紙	1	82	田地歩数并苗数算用	未詳	切続紙	1
65	石川郡大河端村宮本六右衛門 宮本六右衛門打立等諸勤書上	3月13日―4月4日	折紙	1	83	田地歩数并苗数算用	未詳	切続紙	1
66	字八番割打立切渡し帳借用願	5月5日	切紙	1	84	田地歩数并苗数算用	未詳	折紙	1
67	宮本六右衛門↓磯賀磯右衛門 宮本六右衛門歩当り帳(地番入)	未詳	長帳3	1	85	田地歩数算用	未詳	切紙	1
68	地番・歩数等書上	未詳	切紙	1	86	苗品種別産米算用	大正七年	折紙	1
69	人別歩数等書上并口百三〇百七辺図	未詳	切紙	1	87	苗品種別産米算用	未詳	折紙	1
70	歩数書上(リ八十六葎場)	未詳	切紙	1	88	苗品種別産米算用	未詳	折紙	1
71	歩数并金高書上断簡(ホノ七)	未詳	切紙	1	89	自分手作并卸田共歩数調理帳	明治7年4月	長帳7	1
72	宮本六右衛門外三人石高算用并中村伝右衛門圃歩数書上	未詳	折紙	1	90	田畑歩数等書上	明治14・15年	切紙	1
73	歩数等書上(十六石・八番割)	未詳	切紙	1	91	會計指引控(後欠)	明治19・20年度	切紙	1
74	歩寄書上(十六石・八番割)	未詳	切紙	1	92	田畑歩数等書上	未詳	折紙	1
75	歩数書上(北浦・北浦切渡し)	未詳	折紙	1	93	手作記并卸地歩数書上	未詳	折紙	1
76	歩数書上(表々九兵衛当り等)	未詳	切紙	1	94	六右衛門卸地等歩数書上	未詳	折紙	1
77	歩数書上(表々・浦々・外廻等)	未詳	折紙	1	95	田自作反別肥物馬鉄苗取調帳	明治37年5月	長帳3	1
(作付品種に関するもの)					96	田自作反別并肥物馬苗取調帳	明治38年5月19日	長帳5	1
78	大バ等種籾播種量覚	未詳	続紙	1	97	自分手作歩数并そうとめ人数等覚	未詳	切続紙	1
79	ない牧証	5月29日	切紙	1	98	手作・畑手作・居屋敷歩数算用	未詳	折紙	1
80	苗数算用	未詳	折紙	1					

宮本六右衛門

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
(小作)				
99	古田并新開合盛控帳 加役肝煎北間村肝煎新右衛門・御供田村肝煎伊助	文久元年9月	横帳60	1
100	用米算用帳 宮本六右衛門	明治6年12月	長帳7	1
101	卸田歩数合盛取立 宮本六右衛門→新谷又四郎、宮本六右衛門→藤田伊三郎	(明治18年)西11月	切続紙	1
102	卸田歩数合盛取立 宮六→藤野弥右衛門	(明治18年)西11月	切続紙	1
103	田地等卸子作要米取立帳 大河端村宮本六右衛門	明治20年11月	長帳5	1
104	田等卸要米調 卸要米取立(断簡) ↓大村茂三郎	明治21年度 明治21・本年度	長帳5 切紙	1 2
106	卸附要米取立記 地所卸附要米取立帳 宮本六右衛門	明治22年度 明治23・24年度	長帳5 長帳10	1 1
108	年貢米調へ 卸付歩数并年貢米調	明治25年度	長帳3 折紙	1 2
110	田宅畑等卸附年貢米調取立 田畑宅卸付年貢米取立内訳調べ等	(明治26年)已11月21日 明治30年度	長帳5	1
112	田畑宅卸付年貢米調取立(断簡) (明治33年)	明治32年度	長帳7 折紙	1 1
113	田畑宅卸付年貢米調取立帳 宮本六右衛門	明治34年11月16日	長帳8	1
114	田畑宅地卸附年貢米取立帳 宮本六右衛門	明治35年12月	長帳10	1
115	田畑宅地卸附年貢米取立帳 大河端 宮本六右衛門	明治36年11月	長帳4	1
116	田畑宅地卸附年貢米取立帳等 大河端 宮本六右衛門	明治37年12月	長帳10	1
117	田畑宅地卸附年貢米取立帳等 宮本六右衛門	明治38年12月	長帳10	1
118	田畑宅地卸附年貢米取立 宮本六右衛門→覺野与三郎	(明治38年)12月	切続紙	1
119	卸付年貢米取立算用 此主 宮本六右衛門	未詳	罫紙	1
120	耕作人賃料等入出金覚 浦夕等田地に係る人足書上 六右衛門・甚左衛門	大正3―8年 未詳	折紙 切紙	1 1
122	頭振居屋敷并村請村おろし 肝煎六右衛門	嘉永3年11月	長帳11	1
123	頭振居屋敷并村請村おろし帳 大河端村	安政5年11月	長帳7	1
124	村卸調(断簡) 未詳	未詳	折紙	2

土地売買

(田畑に関するもの)

- 125 切高証文 文化9年12月 切紙 1
 売人八郎右衛門・受人仁兵衛↓同村六右衛門
 (奥書) 組合頭次郎右衛門・同次兵衛
- 126 切高証文 文化11年12月 一紙 1
 左兵衛・請人伊右衛門↓同村六右衛門
 (奥書) 肝煎六右衛門・組合頭次郎右衛門・同次兵衛
- 127 切高証文 天保2年12月 続紙 1
 大河端村売主与三右衛門・同請人庄三郎↓西蚊爪村四郎右衛門
 (奥書1) 大河端村肝煎六右衛門・同組合頭仁兵衛・同八郎右衛門・同次郎右衛門 (奥書2) 北間村肝煎新右衛門・須崎村肝煎惣八
- 128 北間村へ切高取返し方御聞届願 (天保8年) 酉3月 続紙 2
 ①大河端村百姓次郎右衛門・弥右衛門・長兵衛・宇兵衛・弥三兵衛・四右衛門・勘右衛門・喜兵衛・三四郎・善兵衛・市郎右衛門・茂右衛門・与三右衛門・庄三郎・伝右衛門・甚右衛門・三郎兵衛・三郎右衛門・徳二・又四郎・佐兵衛・又右衛門・忠右衛門・久四郎・覚右衛門・太左衛門・四郎兵衛・吉兵衛・惣右衛門・浅右衛門・権右衛門・宇兵衛・弥右衛門・九兵衛・勘左衛門・宗兵衛・七郎右衛門・市右衛門・市左衛門・八左衛門・惣次郎・佐兵衛・伊兵衛・磯右衛門・与兵衛・善四郎↓御改作方御郡御奉行所 (奥書) 肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同佐次右衛門・同次兵衛 ②(案) 石川郡大河端村百姓中不残↓御改作方御郡御奉行所 (奥書) 肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同佐次右衛門・同次兵衛
- 129 切高書上并懸作高人々しらへ (天保8年) 酉10月8日 長帳6 1
 大河端村肝煎六右衛門↓田辺治郎吉
- 130 北間高帰り候二付六右衛門等人々入振有之二而受取渡年具 天保12年12月 長帳3 1
 指引帳覧
- 131 切高証文 弘化3年12月 一紙 1
 大河端村売人与三右衛門・同村請人吉兵衛↓同村六右衛門
 (奥書) 組合頭仁兵衛・同佐次右衛門・同次兵衛
- 132 長右衛門高覚 未詳 一紙 1
 切高証文 文久元年12月 続紙 1
- 133 長右衛門高覚 未詳 一紙 1
 切高証文 文久元年12月 続紙 1
 売人大河端村又四郎・受人市郎右衛門↓同村六右衛門
 (奥書) 組合頭仁兵衛・同次兵衛・同弥右衛門
- 134 切高証文 文久元年12月 一紙 1
 切高証文 文久元年12月 一紙 1
 売人又四郎・受人市郎右衛門・同久四郎↓同村六右衛門
- 135 切高証文 明治4年12月 一紙 1
 切高証文 明治4年12月 一紙 1
 売人大河端村上弥右衛門・受人同村伊兵衛↓同村六右衛門
 (奥書) 組合頭治兵衛・同仁兵衛・同浅右衛門
- 136 武右衛門江切高并太右衛門江切高(断簡) 子12月 切紙 1
 六兵衛江切高(断簡) 亥12月 切紙 1
- 137 六兵衛江切高(断簡) 子12月 切紙 1
 六兵衛江切高(断簡) 亥12月 切紙 1
- 138 (地券や地価に関するもの) 開墾地期明二付反別等取立調書 (明治8年) 一紙 3
 石川郡無量寺村地主松林幸次郎・北間村地主高木新右衛門・大河端村地主宮本六右衛門↓石川県令千坂高雅
- 139 石川郡金石本町地内字歌場開墾地見取図 彩色 1
 (明治8年)

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数	3 県・郡・村制
140	(船小屋跡地) 買上二付中勘代金払積状	明治12年8月	切続紙	1	1 郡会議員選挙当選二付礼状 (明治25年) 6月2日 切続紙 金丸次郎右衛門↓宮本六右衛門・磯賀磯右衛門・永井長兵衛・ 下野勘左衛門
141	船小屋跡地買上代金中勘金指上二付添状	明治12年8月	切続紙	1	2 本郡農会臨時総会開催案内 2月16日 切続紙 北川九郎・織田渥・織田助太郎・青木篤太郎↓宮本六右衛門
142	松林幸次郎↓大河端村宮本六右衛門 船小屋跡地不作二付申状 (明治12年) 12月暮		切続紙	1	3 郡会出席依頼 2月16・18日 切続紙 北川九郎↓高木新次郎
143	松林幸次郎↓宮本六右衛門 船小屋跡地代金 十二年作徳米渡二付添状	明治13年1月2日	切続紙	1	4 (封) 高木新次郎↓大河端 宮本六右衛門 県会郡会議員費用帳 明治36年10月 長帳3 宮本六右衛門
144	松林幸次郎↓大河端村宮本 (封) 無量寺村松林幸次郎↓大河端村宮本やを 地所野取絵図帳及順記番号整頓・調印二付名摂寺へ出頭願 廻状	明治20年11月25日	野紙	1	5 石川郡選出衆議院議員候補者松田吉三郎援助依頼 明治41年5月 一紙・印刷 3 ①松田吉三郎↓宮本六右衛門 ②石川政友俱樂部↓宮本六 右衛門 ③松田吉三郎名刺
145	石川郡金岩本町地内持地控記并地券四通領収証 野紙 石川郡大河端村宮本六右衛門↓石川郡無量寺村寺田久左衛 門 明治21年			1	6 石川県選出衆議院議員候補者米田穰援助依頼 一紙・印刷 3 ①米田穰↓宮本六右衛門 ②石川同志俱樂部↓宮本六右工 門 ③米田穰名刺 (明治41年) 5月 一紙・印刷 1
146	地価修正二付金石役場へ指出地券預り証 野紙 明治21年4月21日			1	7 総選挙当選二付礼状 (明治41年) 5月 一紙・印刷 1 米田穰↓宮本六右衛門
147	無量寺村寺田久左衛門↓宮本六右衛門 地卷四通御渡二付案内 (明治21年) 11月11日 切紙 無量寺村寺田久左衛門↓大河端村宮本六右衛門			1	8 県会議員補欠選挙渇津村投票所投票立会人選任并添状 明治42年6月11日 野紙 2 ①渇津村長高木新次郎↓字大河端宮本六右衛門 ②石川県石川郡渇津村役場↓投票所立会人宮本六右衛門

(亡友追悼会)

9 亡友追悼会ニ付協定事項并亡友追悼会執行ニ付諸事相談ノ為

石川政友俱樂部來訪願(回狀)明治41年 一紙・印刷 3

①②5月 石川政友俱樂部長松田吉三郎↓

③6月1日 石川政友俱樂部長松田吉三郎↓高木松太郎・高木新次郎・島野茂三郎・本野仁平・宮本六右衛門

(封) 松田吉三郎↓高木新次郎

10 追悼会執行ニ付來会并周知願(回狀) 切続紙 1

明治41年6月3日

松田吉三郎↓瀧津村高木新次郎・高木松太郎・島野茂三郎・本野仁平・宮本六右衛門 (封) 松田吉三郎↓高木新次郎御等

11 石川政友俱樂部亡友追悼会委員依頼及び發起人等關係諸交名表 大正7年6月10日 印刷 2

①(二紙)亡友追悼会會長 石川政友俱樂部長西村正則・亡友追悼会副會長堀喜幸・亡友追悼会委員長小林庄太郎↓宮本六右衛門②(袋綴10) 諸交名表 (封) 石川政友俱樂部↓宮本六右衛門

村

12 組合頭役申付狀 (明治5年)壬申正月 切紙 1

↓大河端村六右衛門

(明治5年、石川県第七区四番組所屬)

13 大河端村助役差許狀 明治6年3月4日 切続紙 1

石川県第七区会所↓宮本六右衛門

14 大河端村組長指免狀 明治7年1月7日 切紙 1

第七区会所↓宮本六右衛門

15 村余銀元銀并一月ヨリ八月迄利息懸り請取 切紙 1

(明治7年)戊8月25日

大河端村組長日向浅右衛門↓宮本六右衛門

16 八月万難・縄繩給金等請取 日向浅右衛門↓宮六 (明治7年)戊8月25日 切紙 1

(明治17年、戸長を民選から官選へ。弓取村所屬)

17 坂上愛二郎原籍身元問合 明治17年11月3日 はがき 1

東京飯塚謙吉↓石川県加賀国石川郡大川端村戸長御役場

18 大河端村実地検査ニ付出頭依頼 明治20年6月30日 野紙 1

戸長神保小太郎↓大河端村惣代宮本六右衛門

19 大河端巡查駐在所備品迅速御買求并御送り願(回答付) 明治20年11月21日 野紙 1

石川郡大河端村總代宮本六右衛門↓戸長改田正樹

(封) 栗崎村等戸長役場↓宮本六右衛門

20 下安江村外十六ヶ村臨時聯合村臨時会における予算等議案書 明治20年度 印刷・袋綴7 1

21 明治二十一年度能登往来区域下安江村外十六ヶ村通常聯合村会決議録 明治21年10月8日印刷・袋綴5 1

(封) 石川県石川郡役所↓大河端村宮本六右衛門

22 瀧津村村會議員当选告知 明治22年4月21日 野紙 1

選挙掛長安達直事辺(石川県石川郡栗崎村外四箇村戸長役場)↓宮本六右衛門

23 村長撰挙及助役有給条例議定ノ為村会開設及参会告知 明治22年5月24日 野紙 1

元石川県石川郡栗崎村外四ヶ村戸長改田正樹↓瀧津村議員

宮本六右衛門

(封) 元石川県石川郡栗崎村等戸長役場↓宮本六右衛門

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
24	人夫・万雑・儀倉通金受取并地券税請求 磯賀↓宮本六右衛門	西 4 月 7 日	切続紙	1
25	開催式臨席依頼 諸江村神保小太郎↓大河端村五十嵐友儀	5 月 1 日	切紙	1
26	大河端村頼母子式番会掛金割当并御渡願 5 月 5 日	切続紙	1	
27	大河端頼母子会主 中嶋茂右衛門・中村伝右衛門・宮本六右衛門等↓ 出場依頼 神保小太郎↓宮本六右衛門等	10 月 8 日	切紙	1
(明治22年6月、潟津村大河端区)				
28	潟津村長撰拳及助役有給議定ノ為メ村会開設及参会告知 潟津村主担元石川県石川郡栗崎村外四ヶ村戸長改田正樹↓ 潟津村議員宮本六右衛門	明治22年6月5日	野紙	1
29	(封) 石川県石川郡栗崎村等戸長役場↓宮本六右衛門 元戸長役場事務引継方等二付役場迄来車願 明治22年6月20日	野紙	1	
30	石川県石川郡弓取村長神保小太郎↓石川県潟津村村長西田又右衛門・石川県潟津村助役宮本六右衛門 (封) 弓取村長神保小太郎↓潟津村助役宮本六右衛門 役場迄出頭願 明治23年2月12日	切続紙	1	
31	能登往來区域元下安江村外十六ヶ村明治廿六年度通常聯合			
32	能登往來区域元下安江村外十六ヶ村明治廿六年度連合村会議案 石川県石川郡長三好亘 明治25年12月21日	印刷・袋綴7	1	
33	能登往來区域解除建議書二付役場へ出頭通知 石川郡役所↓宮本六右衛門 明治26年2月24日	切続紙	1	
34	役場迄来駕願 石田九左衛門↓宮本六右衛門 明治26年3月14日	切続紙	1	
35	村長助役辞職二付代員撰拳議定ノ為村会開設通知及出席願 石川県石川郡潟津村長西田又右衛門↓宮本六右衛門 明治26年5月2日	野紙	1	
36	能登往來区域元下安江村外十六ヶ村明治三十年年度通常聯合村会議案 石川県石川郡長三好亘 明治30年1月31日	印刷・袋綴15	1	
37	賭奕宿場ノ件二付総寄協議会決議通知 未詳	野紙	1	
38	(石川郡潟津村字大河端) 区長事務所↓浅田源太郎・宮本次右衛門・宮本六右衛門・藤野弥右衛門・藤田甚左衛門・藤野仁太郎・鍛冶野弥市郎 明治三十五年度并二三十六年度歳入出精算引送帳 大河端 宮本六右衛門 明治(32)↓35・36年	長帳12	1	
39	万雑等費用書上(断簡) (明治35・36年度)	切紙2	1	
40	何々団発会式案内文案他 (明治36年) 11月25日	折紙	1	

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数					
60	役場へ来車願 西田又右衛門↓宮本六右衛門	5月30日	切紙	1					
61	新村之義示談ニ付須崎角屋迄来車願 西田又右衛門↓大河端 宮本六右衛門	6月20日	切紙	1					
62	田租・水利費・舟税等受取 の場市左工門↓	8月4日	折紙	1					
63	重要事件議定ノ為大会開催通知及参館願	8月2日	印刷	1					
64	八月万難懸り金受取 石川明治館↓潟津村字大河端 宮本六右衛門・西田又右衛門	8月3日	切紙	1					
65	秋季祭礼ニ付来賀願 西田又右衛門↓宮本六右工門	9月15日	切続紙	1					
66	職員ノ事ニ付役場へ出席願 西田又右衛門↓宮本六右衛門	10月15日	切続紙	1					
67	ケツト懸り残金書上 本ノ仁平(大河端区長事務所)↓宮本六右衛門	12月12日	切紙	1					
68	金納受取 本仁↓宮本	12月15日	切続紙	1					
69	十二月万難金受取 石川郡潟津村字大河端区長事務所↓宮本六右衛門	12月20日	切紙	1					
70	軍事費書上 石川郡潟津村字大河端区長事務所↓宮本六右衛門	12月20日	切紙	1					
71	過金調べ 12月31日		切続紙	1					
72	潟津村議会議員名書 本ノ仁平↓宮本六右衛門	未詳	印刷	1					
73	消防組聯合演習次第 金石警察署所属消防組聯合演習代表者上金石消防組頭辻鉄次郎↓潟津村字大河端区長	未詳	印刷	1					
4 戸 口									
人 別 帳									
1	異国船渡来ニ付御入用人足御請控帳 石川郡鞍月組大河端村	嘉永6年6月	長帳13	1					
2	異国船渡来ニ付十五ヨリ六拾歳迄人別調理書 大河端六右衛門	嘉永7年正月	長帳5	1					
3	御手当人夫ニ付人別等調理帳 大河端村	安政2年2月	長帳10	1					
送 り 状 等									
4	送り状 三ツ屋村肝煎市郎兵衛↓栗崎村肝煎安兵衛	文政5年5月	切紙	1					
5	嫁娶ニ付送状請取 堀川淵上町組合頭与三右衛門↓大河端村肝煎六右衛門	文政13年5月	切紙	1					
6	遺言書 新屋佐兵衛↓肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛・同弥右衛門	慶応2年8月	続紙	1					
7	智養子離縁ニ付願(後欠) 未詳		続紙	1					

5 災害・救恤

災害

1 御殿向焼失二付冥加銀請取 切紙 1

(文化5年)辰2月6日

御算用場↓大河端村組合頭六右衛門

2 家水附書上帳 長帳10 1

(嘉永7年)

3 鈴見橋わたし船之事 切続紙 1

(慶応2年)寅6月

大河端村六右衛門↓壮猶館御入用方御役所

救恤

4 夫食代り御渡粉割符帳控書 長帳5 1

安政2年5月

5 夫喰粉割符帳 長帳8 1

安政5年5月

6 難洪者御救銀返上二付夫喰米等指引割渡帳 長帳11 1

肝煎六右衛門

安政6年

7 撫育生産方手合石灰入用方調理役二付荷問屋等人々名書

慶応3年10月

8 難洪者書上及慈悲願 切紙 1

丑3月

大河端村肝煎六右衛門↓田辺次郎吉様御用所

9 鞍月組貧民撫育産業方勢力役申渡 続紙 1

清水大属↓田辺次郎吉(明治3年)午1月

(奥書)田辺次郎吉↓大河端村肝煎六右衛門

10 里方村々貧民撫育産業方人数調理書上写并蒿産業人共江御渡

銀割符帳 長帳7 1

明治3年2月

石川郡鞍月組

11 鞍月組石灰代請取通 折紙 1

午9月

徳光村長四郎・米泉村善次↓下安江村十右衛門

12 頭振人別調理覚 未詳 折紙1 1

13 金返納切付 明治19年12月25日 用紙 1

石川旧義倉金取扱所↓大河端村宮本六右衛門

変地

14 変地関係帳面綴 帳面綴 1

嘉永7年8月

大河端村(変地打立并損毛等見図り) 長帳5

(変地所并砂入損毛歩数調理書帳 横帳7)

15 石川郡鞍月組大河端村領新変地所図 彩色 1

嘉永7年8月

16 変地所起シ返シ人足賃奉願上申帳 長帳4 1

大河端村 安政2年4月8日

17 諸江村入川変地所当年全植付二付褒賞金下賜状 切紙 1

↓大河端村肝煎六右衛門午7月

18 明治三十二年浅野川洪水二付田区改正取極 罫紙4 1

(明治33年)

6 土木

1 御郡普請御組普請ヶ所并二村方用普請ヶ所書上帳写

大河端村 嘉永6年5月 長帳11 1

川除・用水

2 浅野川下筋大河端村領川除御普請代銀支払方覚 一紙 1

慶応3年11月

大河端村肝煎六右衛門↓坂井弥太郎・河合平作・岸井宇兵衛

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付	点数
3	御田地用水堰所入用銀御願申上ル帳 鞍月組大河端村 慶応4年4月		袋綴4		1
4	寅七月十六日入川仕飯堰入用銀奉願申上候帳 寅11月		長帳		2
5	石川郡用水方材木預り方主附中渡 卯3月		切紙		1
6	用水普請人夫割付 未詳		こより綴		2
7	浅野川堀川町ヨリ下筋普請入札ニ付土居盛掛附添 未詳		折紙		1
8	浅野川水利土功會議員当撰状并添状 明治18年10月		切紙		2
9	粟ヶ崎御旅屋御往来通盛掛願帳下書 大河端村 嘉永6年		長帳8		1
10	粟ヶ崎往来道直シ等人足賃御渡願申上申控 肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・次兵衛・次郎右衛門↓田井村 次郎吉 丑12月9日		長帳4		1
11	栗崎御亭道字折違橋懸替願 寅3月 大河端村肝煎六右衛門↓田辺次郎吉様御用所		切続紙		1
12	能登往来馬踏修繕協議會議案 未詳		印刷・袋綴5		1
13	人足等 人足御通挾 大河端村次兵衛 天保10年正月		板2		1
14	作料・喰料等代金書上(前欠)未詳		折紙		1
15	人足賃及び諸費用受取 北間弥一郎↓宮本 8月		切続紙		1
16	人別人足書上(厚持寛) 未詳		折紙		1
7 産 業					
1	農事試験成績第九報 石川県石川郡農事試験場明治41年1月20日		印刷・書冊64		1
2	(油木・菜種) 桐油木作植仕法帳并植付生立方指図書 (嘉永元年)申11月		袋綴7		1
3	大河端六右衛門・湯涌新右衛門 油木植付方勢子人鑑札 嘉永2年8月		木札		1
4	菜種取上高調理 石川郡鞍月組大河端村六右衛門 (慶応元年)丑閏5月22日		折紙		1
5	(藍) 地作出来藍売買取捌申仕法 天保5年11月		袋綴6		1

道路・橋

6	紺屋中江地作藍売買取捌人仰渡願	天保5年	続紙	1
7	石川河北両郡村々出来之葉藍売買代銀相滯百姓難義二付願上	天保6年	続紙	1
8	石川・河北郡村々惣代↓御改作方御郡御奉行所 近岡村近宗七右衛門ヨリ出之粉藍喜右衛門江御渡願	西9月9日	切紙	1
9	漁業組合費用中勘金受取 本野↓宮本	12月2日	切続紙	1
10	金借用願 大酢又次郎↓宮本六右衛門	明治28年8月9日	切続紙	2
11	波佐羅山之出金請求 いせき↓宮六・本野・南谷（封）伊関与吉郎↓本野仁平	明治29年6月18日	切続紙	1
12	鉦山費割当出金請求書	8月10日	切続紙	1
13	金沢伊関与吉郎↓本野仁平・南屋次郎右衛門・宮本六右衛門 山ノ掛り金渡方二付願 五十嵐友儀↓宮本六右衛門	12月17日	切紙	1
14	「金沢城扇舗松柏亭折」印	未詳	印章	1
15	（藁産業） 縄・わらじ代銀月締算用	午3月3日	長帳3	1
16	南新保村肝煎善四郎↓諸江村肝煎佐次右衛門 縄等本勘算用御達之表之外附落分書上	午5月17日	折紙	1
17	藁産業之品金石見留問屋迄指出品并代銀藁等指引書 〔大河端村・三ツ屋村・三口村・須崎村・近岡村・直江村・北間村〕	未詳	長帳4	1
8	金融・貸借			
1	不足銀取立帳 宮前六右衛門	天保13年正月（明治3年）	長帳37	1
2	銀子借用証文 田邊長太郎↓大河端六右衛門	弘化4年7月	切紙	1
3	年賦証文 加藤波江↓大河端六右衛門	嘉永4年3月	一紙	1
4	東屋喜助炭代銀月年賦証文 板屋庄右衛門↓大河端六右衛門	嘉永7年12月	一紙	1
5	銀子借用証文 常福寺左衛門督↓大河端六右衛門・仁兵衛	寅7月14日	切紙	1
6	森屋徳兵衛炭代残銀年賦証文	慶応3年10月	一紙	1
7	丁錢手形 請人清水五左衛門・北村伊大夫↓大河端六右衛門 杉本作左衛門台所↓大河端六右衛門	慶応4年7月	切紙	1
8	銀子并米借用証文 加藤亥大夫↓大河端六右衛門、（奥書）神保武大夫	明治元年7月	一紙	2

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数					
9	銀子借用証文 大河端村肝煎六右衛門→石浦屋与三兵衛	明治2年2月	一紙	1	22	蚊爪次兵衛指引書	酉8月—卯 酉12月29日	長帳5 切紙	1
10	米受取 加藤波江内中村源大夫→大河端六右衛門	卯正月22日	切紙	1	23	年賦米証文 加藤波江→大河端村六右衛門	酉12月	切紙	1
11	銀子預り 戎屋与四郎→大川端村六右衛門	卯11月22日	切紙	1	24	杉小羽・牧・堅炭代銀書上 大河端六右衛門→加藤波江様御台所	酉12月	切続紙	1
12	白井亥太郎様御取立物初掛銀請取 う12月6日		切紙	1	25	石動米請取 飯田台所→大河端村六右衛門方	亥6月11日	切続紙	1
13	台処取立物初掛銀請取 菊池十六郎台所→大河端六右衛門	卯12月26日	切紙	1	26	銀子預り 金石五宝屋又四郎→宮前六右衛門	4月6日	切紙	1
14	銀子預り証文 能登屋喜丞→大川端六右衛門	卯12月29日	切続紙	1	27	銀子・米等難題二付米納入并すみ注文 加藤内→六右衛門	10月11日	切紙	1
15	保銀手形 笹屋慶次郎→大河端六右衛門	卯12月晦日	切紙	1	28	預り金清算報告 宮 六右衛門→伊関庄馬	(明治10年)丑7月12日	切紙	1
16	米受取 加藤波江台所→大河端村六右衛門	たつ正月9日	切紙	1	29	貸金覚帳 六右衛門	明治12—17年	(錯簡)9	1
17	米請取 加藤波江台所→大河端村六右衛門	辰3月27日	切紙	1	30	金請取并借用書 羽咋郡萩市村樋本九郎兵衛→河北郡向粟崎村夷藤与四郎・石	明治19年12月8日	切続紙	1
18	保銀預り手形 神保→	辰7月14日	切紙	1	31	金借用証書 川郡大河端村宮本六右衛門	明治34年7月1日	罫紙	1
19	銀子預置 酒見村久次郎→大川端村六右衛門	辰12月9日	切紙	1	32	金請取 トキ林彦右衛門・受人木越屋与平→大川端村宮本六右衛門	戌3月9日	切紙	1
20	初掛銀請取証文 辻多門内山村甚左衛門→大河端村六右衛門	酉7月	切紙	1	33	柳瀬与九郎様行金札受取 五宝(屋)又四郎→宮本六右衛門	戌5月7日	切紙	1

34	富木彦右衛門宛金錢請取 木越屋与兵衛↓大河端村六右衛門	1月31日	切続紙	1
35	利足金催促 沢田そと↓宮本六右工門	12月25日	罫紙	1
36	金取高調理	未詳	折紙	1

9 水 運

1	大野湊入津方等宮腰ヨリ指構申ニ付同所町御奉行并御郡所ヨリ御達之御紙面及落着御書立之写 大野浦	寛政4年10月	袋綴15	1
2	大河端村ヨリ近江町四十物問屋江届大樽物等浅野川積登り分荷船ノ為下安江村七ツ屋之後口河道開削ニ付取極 文政12年5月	続紙	1	
3	浅の川々曳荷物(鉄)宮腰馬借等指留ニ付御詮儀願 大野村役人連名↓ (嘉永4年)亥3月	続紙	1	
4	浅の川船積運送荷物(家具櫃)宮腰馬借差押之件御詮議ニ付大番物等之義御答書写 大河端村荷宿中等(大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛・同弥右衛門・同村頭振市右衛門↓田井村次郎吉)	安政6年10月 袋綴4	1	
5	御塩川揚仲間駄賃等算用帳 大河端村仁兵衛・次兵衛・八十右衛門・六右衛門	文久元年10月 長帳11	1	
6	学校用材持届分二本不足之件御答書 大河端村六右衛門↓	慶応元年9月	続紙	1
7	今石動町蔵米・高松町米等舟積申渡 (慶応元年)丑11月13日	切続紙	1	
8	宿立願書附写 大河端村荷宿等(石川郡大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛・同弥右衛門↓田辺次郎吉) (奥書)田辺次郎吉↓御郡所	慶応2年1月 袋綴5	1	
9	西蚊爪村和左衛門等并東蚊爪村宇兵衛舟積稼相始申ニ付御指留之書付写等一件 (奥書)田辺次郎吉↓御郡所	慶応2年2月 袋綴14	1	
10	舟積稼方御指免願書附 西蚊爪村和左衛門・長右衛門↓田辺次郎吉	慶応2年3月 続紙	1	
11	舟積稼札写 西蚊爪村和左衛門・長右衛門	(慶応2年)寅3月 切続紙	1	
12	西蚊爪村并東蚊爪村及大河端村運役義相分ニ而御郡所ヨリ仰渡之写 行山宝次郎↓石川・河北郡御扶持人中	(慶応2年)寅4月9日	一紙	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨 付	点 数
13	中嶋町并浅野中嶋村之者共江宮腰荷物町持指止仰渡願 (慶応2年)寅4月 続紙				1
14	大河端村肝煎・組合頭↓御才許宛所 宮腰材木運送稼二付町持指止願 (慶応2年)寅4月 続紙				1
15	大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛・同次郎右衛門↓田井村次郎吉 宮腰・大野一ツ之地ニ被仰付ニ付江川堀立御達書 (慶応2年)寅5月28・29日 切続紙				1
16	金沢届之荷物前々之通引請ニ付金石問屋江対シ縮方申上帳 (奥書)三郎兵衛・吉郎左衛門↓金石町年寄中 荷宿中(大河端村荷宿六右衛門・同仁兵衛・同次兵衛・同次郎右衛門↓金石町問屋中) 慶応2年6月 袋綴3				1
17	宮腰・大野一ツ所ニ付新川堀立一件大野ヨリ願書上写 慶応2年6月 袋綴8				1
18	浅野川筋舟積運送方ニ付弥右衛門方ヨリ願書附写 慶応3年6月 袋綴8				1
19	村方之内ヨリ荷宿四人之稼引取候様書付指出申ニ付答書等 慶応3年6月 袋綴3				3
20	荷宿四人之稼ニ付答書及願書等三通写 袋綴13				1
21	今石動町米舟積申渡 御算用場↓改作御奉行中 子10月22日 切続紙				1
22	舟調理 午 長帳3				1
23	潟之内舟積ニ被仰付村々ヨリ御普請所御材木運送方賃銀之義ニ付願上 申8月 続紙				1
24	石川郡戸板組大野村肝煎次右衛門・組合頭十左衛門・同仁兵衛・同六郎兵衛・同藤右衛門・同兵四郎・同又四郎・同宗吉・同伝次郎・同小左衛門・同組無量寺村肝煎甚兵衛・組合頭次郎右衛門・同伊兵衛・同三郎兵衛・鞍月組須崎村組合頭				
25	①慶応2年6月 村中↓大河端村役人衆中(荷宿四軒)②慶応2年7月 大河端村中・組合頭弥右衛門↓田辺次郎吉 ③明治2年2月 大河端村惣代弥右衛門・佐次右衛門・磯右衛門・市左衛門・与三右衛門・喜兵衛・弥右衛門↓田辺次郎吉				
26	①未詳 (袋綴5) 六右衛門・仁兵衛・次兵衛・弥三右衛門 ②未詳 (袋綴7) ③慶応3年6月 (袋綴8) 大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛・弥三右衛門↓田辺次郎吉				
27	①慶応3年6月 大河端村肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同次兵衛・弥三右衛門↓田辺次郎吉				
28	②慶応4年5月 大河端村荷宿付稼人藤右衛門等連名六拾壹人↓田辺次郎吉				
29	(奥書)肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・次兵衛				
30	③明治2年3月 大河端村荷宿六右衛門等四人				
31	御算用場↓改作御奉行中				
32	(奥書)田辺次郎吉↓大河端村肝煎六右衛門				
33	舟調理				
34	午 長帳3				
35	潟之内舟積ニ被仰付村々ヨリ御普請所御材木運送方賃銀之義ニ付願上				
36	申8月 続紙				
37	石川郡戸板組大野村肝煎次右衛門・組合頭十左衛門・同仁兵衛・同六郎兵衛・同藤右衛門・同兵四郎・同又四郎・同宗吉・同伝次郎・同小左衛門・同組無量寺村肝煎甚兵衛・組合頭次郎右衛門・同伊兵衛・同三郎兵衛・鞍月組須崎村組合頭				

24	南部材木大野浦入津之儀宮腰指構二付懸合之趣意	未詳	袋綴5	1
	煎市左衛門・組合頭与次兵衛・同勘兵衛・同吉兵衛↓			
25	宮腰御詰塩浅野川為川登之折之扱二付大河端村之者共江御達	未詳	切続紙	1
	御算用場↓加州御郡奉行中			
26	御收納米舟積運送見合札	未詳	木札	1
	(奥書)内藤十兵衛↓田井村次郎吉			
27	御上米駄賃等算用帳	明治4年2月	長帳13	1
	大河端村六右衛門			
28	万買込帳	明治6年1月	長帳28	1
	宮本六右衛門			
29	大角等炭納品書上(断簡)	子正月28日	折紙	1
	材木値段見積	子3月22日	切紙	1
30	早かや治吉↓大河端村六右衛門			
	材木代銀書上	子4月16日	切紙	1
31	近岡屋与右衛門↓大河端村六右衛門			
	玄米・餅白米二付取極	丑正月5日	切紙	1
32	加州金沢十間町御用御料理所卯辰屋太右工門↓大河端六右			
(舟荷・運賃等、取引証文・留帳等)				
33	荷宿割当荷物覚	未6月7日	長帳9	1
	去年以来預り古鉄もらい願	未7月9日	切紙	1
34	有屋↓大六			
	炭代銀受取	酉7月	切紙	1
35	大河端村六右衛門↓金吹万吉			
	鍋箇九箇請取	戌3月10日	切紙	1
36	河嘉屋(河端屋嘉左工門)↓越野六郎右衛門			
	瓦受取	戌4月18—20日	切続紙・切紙	3
37	五宝(屋)又四郎↓大川六右衛門			
	家材木古木受取	戌4月22日	切続紙	1
38	五宝(屋)又四郎↓宮前六右衛門			
	古石・板石・瓦・古木板受取	戌4月23日	切紙	1
39	五宝(屋)又四郎↓大川六右衛門			
	炭運賃受取	戌5月21日	切続紙	1
40	木谷久三郎↓大川六右衛門			
	五宝屋又四郎様口炭・牧木等荷物覚(断簡)	2—4月	折紙	1
41	炭代御渡し願(委任状)	3月2日	切紙	1
	加州金沢料店周榮軒↓大川			
42	鍋三拾箇請取	3月7日	切続紙	1
	五宝(屋)又四郎↓宮前六右衛門	3月23日	切紙	1
43	かたすめ売渡			
	直江屋仁平↓新屋久兵衛	3月29日	切紙	1
44	旅籠・酒等代錢書上			
	□□屋八兵衛↓上			

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数					
46	古木板等預り 五宝(屋)又四郎↓大川端宮前六右衛門	4月10日	切紙	1	61	炭代請取 トキ寺井文平↓大河端村宮本六右衛門 諸荷物覚帳(・人足帳・小遣帳・屎物記) 宮本六右衛門	明治7年7月6日	一紙	1
47	米等荷物覚(断簡) 〔執谷村武右衛門等・孫右衛門口、同村伊兵衛口、柴垣村作次郎〕	5月11日	切紙	1	62	三升釜代金受取 武村弥吉↓大河ばた宮本六右衛門	明治9年 明治10年12月	切紙	1
48	粟崎より貫水掛り銀(断簡)	5月	切紙	1	63	能州金砂粉二付世話方依頼 油谷茂三郎↓宮本六右衛門	明治19年8月15日	切続紙	1
49	七尾行鍋拾箇請取 三井店↓大川六右衛門	6月3日	切紙	1	64	屎物控帳 大河端村宮本六右衛門	明治20年1月	横帳6	1
50	孫三郎様口炭等荷物覚(断簡)6—8月 運賃等諸事書上	9月27日 12月26日	長帳 折紙	1	65	万日記 宮本六右衛門	明治22年1月—23年1月	横帳53	1
51	六拾束請取 三社町村田↓	12月26日	薄板	1	66	瓦送付二付通知 高田又四郎↓宮本六右衛門	明治23年8月15日	はがき	1
52	請取駄賃御渡願印 大河端六右衛門	未詳	木版	1	67	運賃代米書上 三十七〽三十九年度運賃代米等精算願	明治37—39年 明治40年2月1日	切続紙	1
53	代錢書上 東楽□□□	未詳	切紙	1	68	宮本六右衛門↓坂戸長松 材木等代金請求 (明治41年)8月	切続紙	1	1
54	次右衛門払に関する算用 細屋炭調理	未詳	折紙	1	69	宮本↓宮本六右衛門 材木代金等請求 (明治42年)2月19日	切続紙	1	1
55	戸板組ノ分等荷物覚 炭運賃中勘金請取	未詳	折紙	1	70	武村様炭遣炭受取 大河端村宮本六右衛門↓栗ヶ崎松戸屋	丑8月26日	切紙	1
56	炭代受取 寺井文平↓宮本六右衛門	明治7年5月3日	切続紙	1	71	二升鍋八箇・一升五合煎鍋二箇代金請求 加陽金府武村弥吉↓宮本六右衛門	戊1月24日	切続紙	1
57	炭運賃受取 木谷久三郎・代八十吉↓宮本六右衛門	明治7年7月5日	切続紙	1	72				
58					73				
59					74				
60					75				
61					76				
62					77				
63					78				
64					79				
65					80				
66					81				
67					82				
68					83				
69					84				
70					85				
71					86				
72					87				
73					88				
74					89				
75					90				
76					91				
77					92				
78					93				
79					94				
80					95				
81					96				
82					97				
83					98				
84					99				
85					100				

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
10 宗 教				
仏 教				
1	御俗姓 浅野村六兵衛	嘉永4年	袋綴6	1
2	御坊講中札 墨書「大河南端村六右衛門」、焼印「石川」	安政6年7月	木札	1
3	随喜講帳 能州惣持寺様御取立分	万延元年（明治4年）	長帳11	1
4	惣持寺随喜講拾壹番会懸銀割当分指出通達 （慶応元年）丑10月14日 田辺次郎吉↓大河南端村肝煎六右衛門	切続紙	1	1
5	月並御講大河南端村中順廻宿札 慶応2年正月	木札	1	1
6	茂三郎道場跡継二付取斗願 未詳	切続紙	1	1
7	茂三郎江御僉儀之上御高并御堂内仏等御渡願 辰9月	続紙	1	1
8	組御講志記帳 大河南端村六右衛門 右衛門 （奥書）肝煎六右衛門・組合頭仁兵衛・同八郎右衛門・同次郎	明治2年6月10日	長帳6	1
9	御坊里講中札 未詳	木札	1	1
10	三箇条御趣意并法主様添直書写	袋綴5	1	1
11	寺務所↓ 相続講加入金受取 金沢相続講事務取扱所↓宮本六右衛門	明治5年10月 明治20年3月9日	木版・切紙	1
12	法苑のかをり 徳山現道編輯兼発行	明治33年4月1日	書冊12	1
13	日本大菩提会趣意書 附覚王殿予定平面図（六千分ノ二）	明治33年6月11日	印刷	1
14	日本大菩提会本部、京都法会社印行、伊藤満作図 記念大法要御取持記念念珠進呈状	明治34年11月1日	一紙	1
15	歎異鈔 金沢教務所↓宮本六右衛門 真宗大学内丙申会・真宗東京中学内制心会・代表藤田観龍発 行	明治36年3月28日	書冊32	1
16	本山寄附金二付五等紀功章等許与状 明治39年12月31日	一紙	1	1
17	本山整理寄附金披露状 本山出納部↓加々国石川郡大河南端村宮本六右衛門	明治40年4月24日	木版・切紙	1
18	法のみやげ 大日本人造肥料株式会社 大阪支社発行	明治44年4月19日	書冊19	1
19	法の宝 第二百六十二号 親鸞聖人と意識真宗聖典	大正11年12月1日	書冊24	1
20	御開山聖人御厨子塗箔御済家具等代金寄進依頼 3月	切紙	1	1
21	大極上々惣金厨子手付銀受取 常福寺記帳場執事↓大河南端村御門徒中	切紙	1	1

亥11月朔日

川尻屋弥三右衛門↓大河端村六右衛門

藤野弥右衛門母葬式二付依頼

3月4日

切紙

1

常福寺↓大河端村宮本六右衛門・本野仁平

報恩講執方案内

未詳

木版・切紙

1

木越光蓮寺↓大河端宮本宮六

明正寺頼母子一件相談二付在宅願

12月5日

切続紙

1

七ツ屋町手下政五郎↓宮本六右衛門・南谷次郎右衛門・本野

仁兵衛・中伝右衛門御等

大河端村惣門徒独恩講今年ヨリ本坊勤二付通知依頼

12月8日

切続紙

1

常福寺住職北方蒙↓宮本六右衛門・本野仁平・的場三四郎・

的場市左衛門・穴田喜兵衛等

願願鈔

未詳

印刷・こより綴7

1

広文堂印刷

正信偈(一部分)

未詳

手写・袋綴3

1

帰命頂礼ほこりたゝき

未詳

手写・袋綴12

1

神 道

御宮拝殿御柱建御祝儀(断簡)天保6年7月21日

折紙

1

大河端村(後欠)

古宮人路切所御願申上之写帳(諸入用図り書)

長帳8

1

大河端村六右衛門

弘化4年4月

御宮御本社再建帳并入用控

長帳15

1

嘉永4年8月(一元治元年11月)

32 (平野神社)社殿落成二付御遷座慶賀祭礼招待状

附盆栽・煎茶会券

印刷

2

(明治41年)9月17日

氏子総代高木新次郎↓石川郡会議員宮本六右衛門

11 地理・地誌・紀行

郷土資料

1 手鑑覚帳

天明5年6月

横帳42

1

桜井源五郎時庸

2 金沢市明細図

明治34年5月31日再版

金沢山田信景編輯兼発行

彩色石版

1

角書「訂正実測」

3 文の園 第七十号 和倉あん内

明治37年12月19日

彩色・書冊12

1

高岡市上坂外喜男編輯、塩谷活版所発行

4 北の都 第八拾号

彩色印刷・量物

1

明治38年11月10日

金沢山下義保編輯兼発行、山下本舗発行

5 石川鉄道名所案内

彩色印刷・書冊34

1

大正4年6月3日

石川鉄道株式会社編纂兼発行

6 加賀国粟津鉦泉所全図

未詳

印刷

1

加賀国粟津温泉所龍山堂、明治印株式会社印刷

7 新野々市・鶴来間時刻表

未詳

彩色印刷

1

石川鉄道株式会社

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
道中記・諸国名所				
8	京并大坂名所覚帳 久松所持、角書「西山・東山」	安政2年6月9日	横帳12	1
9	本願寺参詣者細呂木関所過所手形 (安政7年)申閏3月10日		切続紙	1
10	長谷部甚平↓細呂木御関所 道中覚帳	安政7年3月	横帳30	1
11	上方道中日記 加賀大河南端宮本六右衛門	明治6年6月中旬	横帳10	1
12	日光山両社全図 栃木大橋兵三郎発行、大壳捌人日光町神山熊吉	明治41年11月10日	彩色印刷	1
13	日光名所案内記 鈴木民之輔編輯兼発行、東京国粹堂発行、日光町神晃堂販売、 角書「再版」	明治42年1月25日再版	印刷・書冊87	1
14	高野山名勝画帖 (珠数屋四郎兵衛総本店)高野山開創壹千百年記念	(大正5年3月)	絵はがき9	1
15	明治神宮郵便はがき 謹写原色版 日本葉書倶楽部謹製、明治神宮鎮座記念	大正9年11月3日	彩色印刷・はがき	4
16	立山登山案内図 曹洞宗大本山永平寺全図	未詳	彩色木版	1
17	福井奥村精愛堂印刷 大谷派本山郵便はがき	未詳	印刷	1
18	本山蔵版、神戸光村印刷株式会社印刷	未詳	はがき	3
世界図・日本図				
19	道中独案内図 江戸書林満原屋平助・名古屋書林永楽屋東四郎・京都書林 菊屋喜兵衛等 版行、角書「諸国案見」改正道法 駄賃附、朱 印「石川郡 大河南端 六右衛門」	文化5年9月	木版・量物	1
20	新撰万国地図(訂正三版) 大阪 高橋熊太郎編著、是石辰三郎関、石井鈎三郎 発行	明治33年3月25日	彩色印刷・書冊8	1
21	日露清韓樞要地図(縮尺六百万分一) 東京 青野友三郎発行兼編輯、金沢 横川湊文堂・近田書店発行	明治37年2月27日	彩色印刷	1
22	遼陽以北・哈拉賓間戦局地図(北國新聞第四千八百九号附録) 北國新聞社発行、勝岡良吉 発行兼編輯	明治37年11月3日	印刷	1
23	旅順包囲攻撃図 写 未詳		彩色	1
都 市				
24	(京都) 京名所独案内(文化新板) 文化年間 角書「東山・西山」、京菊屋長兵衛板		木版・袋綴4	1
25	京名所独案内 池田東籬編、京都 竹原好兵衛板	天保12年春	木版・横帳11	1
26	京都新地図(并二名所旧跡案内図絵)(断簡) 村松発次郎編輯、佐々木慶助発行、須磨勘兵衛発行兼印刷	明治28年3月20日	彩色石版	1

(東京)

27 鐵道院陸海軍御用達宿旅館若葉屋案内 彩色印刷 1

未詳

東京市若葉屋、附「汽車電鉄市街線路図」「東京名所(見物順序)」

28 東京市全図(縮尺二万分之一)附横浜市(縮尺二万六千六百分之一)

大正11年3月1日 彩色印刷 1

鳥居政豊著、雄文館発行、訂正有、第53版、角書「改正番地入」「最新」、裏面「東京遊覧案内並ニ電車案内」

12 学 芸

教科書

(往来物)

1 増補書状大全 未詳 木版・横本120 1

玄泉堂戸田栄治著、墨書「石川郡大河端村六右衛門」

2 千字文 未詳 手写・小本25 1

3 今川状並腰越状 未詳 木版・中本10 1

大坂玉水源次郎新板

4 大坂状 大字平仮名附 未詳 手写・小本5 1

5 道歌并初登山手習教訓書写 未詳 手写・袋綴9 1

6 手習本 未詳 手写・折本 1

7 文の枝折 等 未詳 木版・横本53 1

8 鞍馬状等写 未詳 手写・横帳64 1

9 風月往来等写 未詳 手写・袋綴11 1

10 拝状等写 未詳 手写・袋綴12 1

(教科書)

11 小学習字帖 第二 木版・袋綴18 1

明治22年4月3日訂正再版

竹内鈔次郎・岡本照景編輯、海石村田浩蔵書、金沢益智館発行
(墨書)「宮本六郎」「明治二十八年六月」

12 小学習字帖 第五 木版・袋綴15 1

明治22年4月3日訂正再版

13 小学習字帖 高等科 第九 木版・袋綴30 1

明治22年5月31日訂正再版

竹内鈔次郎・岡本照景編輯、海石村田浩蔵書、金沢益智館発行
(墨書)「宮本」

14 小学習字帖 尋常第三学年上 五 木版・袋綴21 1

明治27年7月1日訂正再版

倉知新吾編輯、海石村田浩蔵書、金沢益智館発行
(墨書)「宮本六郎」

15 小学習字帖 尋常第四学年上 七 木版・袋綴21 1

明治27年7月1日訂正再版

倉知新吾編輯、海石村田浩蔵書、金沢益智館発行
(墨書)「宮本六郎」

16 小学習字帖 尋常第四学年下 八 木版・袋綴21 1

明治27年7月1日訂正再版

倉知新吾編輯、海石村田浩蔵書、金沢益智館発行
(墨書)「大河端」「宮本六郎」

17 小学習字帖 高等第二学年上 三 木版・袋綴21 1

明治31年3月6日

海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨 付	点 数
18	小学習字帖 高等第三学年上 五	明治31年3月6日	木版・袋綴21	1	
19	小学習字帖 高等第四学年上 七	明治31年3月6日	木版・袋綴21	1	
20	小学習字帖 高等第三学年下 八	明治31年3月6日	木版・袋綴21	1	
21	毛筆画手本 尋常小学第二学年用	明治38年10月19日翻刻	印刷・書冊26	1	
22	尋常小学修身書 第四学年兒童用	明治38年12月18日翻刻	印刷・書冊50	1	
23	尋常小学書キ方手本 第三学年用下	明治39年6月23日翻刻	印刷・書冊34	1	
24	高等小学修身書 第一学年兒童用	明治43年2月28日翻刻	印刷・書冊45	1	
25	理科帳(高等一年)	明治31年4月5日	手写・横帳26	1	
26	万国名数記略写	未詳	袋綴6	1	
27	日本地誌略附图写	未詳	彩色20	1	
28	石川教育協会仮規則	未詳	印刷・こより綴6	1	
29	石川教育協会定會開會通知	明治18年4月29日	印刷	1	
30	石川教育協会報告第貳拾四—三十七号	明治18—20年	印刷・書冊	14	
31	石川教育協定会出欠伺	明治20年1月16日	切統紙	1	
32	石川教育協定会費未納二付出金督促	明治20年5月15日	はがき	1	
33	育英社奨学事業拡張趣意書	明治35年10月	彩色印刷・書冊8	2	
34	組合聯合運動會挙行通知	明治40年5月5日	罫紙	1	
35	侯爵前田利為・育英社副總裁伯爵前田利同・育英社副總裁子爵前田利惣 (墨書)「宮本秀雄」①				
36	北間尋常小学校↓大河端区長宮本六右工門				
37	文部省著作兼発行、国定教科書共同販売所発売、日高秩父書、吉岡宝文館発行 (記名)「宮本」				
38	文部省著作兼発行、国定教科書共同販売所発売、南江堂書店発行 (記名)「宮本秀雄」				
39	文部省著作兼発行、国定教科書共同販売所発売、白浜徴画、水野書店発行				
40	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
41	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
42	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
43	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
44	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
45	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
46	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
47	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
48	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
49	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
50	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
51	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
52	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
53	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
54	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
55	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
56	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
57	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
58	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
59	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
60	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
61	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
62	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
63	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
64	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
65	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
66	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
67	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
68	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
69	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
70	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
71	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
72	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
73	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
74	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
75	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
76	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
77	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
78	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
79	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
80	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
81	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
82	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
83	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
84	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
85	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
86	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
87	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
88	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
89	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
90	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
91	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
92	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
93	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
94	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
95	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
96	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
97	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
98	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
99	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				
100	海石村田浩蔵書、金沢益智館編纂・発行・印刷				

(教科書類写)

学 事

35	第七組小学校聯合運動会挙行案内	明治41年4月28日	印刷	1	45	大阪塩谷喜助・塩屋長兵衛合梓	未詳	切紙	1
	石川郡第七組小学校聯合運動会長・上金石尋常高等小学校長 小原恒貞↓郡会議員宮本六右衛門				46	神武紀元算出覚	未詳	印刷	8
36	児童ニ麦黒穂拔取ラシムルニ付依頼	明治41年5月13日	印刷・罫紙	1	47	明治三十四・三十六・四十二年略曆	明治33・35―41年11月		
	石川郡北間尋常小学校長土田外鐵男↓大河端区長宮本六右 工門				48	神宮奉齋会金沢本部編輯兼発行、北地武明印刷			
37	組合小学校第五学年合同学業演習会挙行通知	明治41年7月24日	罫紙	1	49	謡本 高砂	未詳	木版・小本14	1
	石川郡北間尋常小学校↓大河端区長・学務委員宮本六右工門				50	謡本 高砂	未詳	木版・袋綴14	1
38	記念奨学資金ノ方へ寄附金受領証	明治42年1月6日	切紙	1	51	（墨書）「宮本六右衛門」			
	石川郡潟津村長高木新次郎↓宮本六郎				52	観世流謡本 經政	正徳3年仲春	木版・小本10	1
					53	二条通 山本長兵衛新刊、墨書「加州石川郡大河端村三太郎」	宝暦5年仲春	木版・小本7	1
					54	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本15	1
					55	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					56	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					57	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					58	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					59	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					60	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					61	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					62	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					63	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					64	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					65	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					66	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					67	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					68	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					69	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					70	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					71	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					72	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					73	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					74	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					75	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					76	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					77	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					78	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					79	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					80	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					81	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					82	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					83	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					84	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					85	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					86	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					87	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					88	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					89	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					90	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					91	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					92	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					93	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					94	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					95	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					96	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					97	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					98	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					99	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1
					100	二条通 山本長兵衛新刊	宝暦5年仲春	木版・小本13	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨 付	点 数
56	本朝廿四孝 四段目切 十種香の段 未詳		木版・中本 23	1	
57	大坂船町天満屋 玉水源次郎新版、(墨書「宮九」) 伽羅先代萩御殿のどん 未詳		木版・中本 29	1	
58	絵本太功記 十冊目 尼ヶ崎の段 未詳		木版・袋綴 38	1	
59	大阪船町 加嶋屋清助板 角書「再板」 仮名手本忠臣蔵 第八段目 道行旅路嫁入 未詳		手写・袋綴 4	1	
60	美谷鶴林所持 千本桜道行 恋中車初音の旅 未詳		木版・袋綴 7	1	
61	鴻金堂板 千両幟角力の段 未詳		木版・中本 7	1	
62	常磐津小文字 太夫直伝、三代目岸澤古式部・岸澤式佐・岸澤 文左エ門、正本版元 神田 いがや(勘右衛門)、外題「関取 千両幟相僕之段」、墨書「美谷鶴林所持」 かつほうり等稽古本 文久元年 9 月朔日写 袋綴 10			1	
63	美谷鶴林所持 大津ゑぶし 安政 5 年初春 彩色木版・小本 14			1	
64	芙蓉園嬰子序、玉の門笑山見返画、大阪 綿屋徳太郎板・綿 屋喜兵衛板 よさぶし等并芝居興行記録 久松所持 文久元年 3 月(・同 2 年) 手写・横帳 18			1	
65	版木「ハイカイ 一方評入花六穴」等 版木			1	
66	艶道文の真砂 艶道文屋編、(題箋)「艶道増補 恋の千話文」 卯月 25 日・5 月 3 日 ひのえたつの秋序 木版・小本 40			1	
67	未森記 美谷鶴林作・所持 安政 5 年正月 15 日 手写・袋綴 37			1	
68	蘭国騒動 一件 全五冊之内初編 美谷鶴林作 未詳		手写・袋綴 19	1	
69	唐詩選 上・中・下 濟南李拳龍撰、7 卷 3 冊 ①上(木版 49) ②中(木版 43) 慶応元年 小本・木版 3			3	
70	「春夏秋冬 衾願鶴扇」印 未詳		印章	1	
71	書 画 画帳 宮本秀雄 未詳		こより綴 16	1	
72	観音画 三浦□山画 未詳		紙本彩色	1	
73	自在 □利昇運画・賛 未詳		紙本墨画	1	
74	華 春夢書 未詳		一紙	1	
75	(詩) 未詳 一紙			2	
13 宮 本 家					
相続・家族構成等					
1	永代留帳 大河端村宮本六右衛門 明治 6 年 2 月(―7 年 11 月) 袋綴 28			1	
2	宮本六右エ門戸籍抄本写 石川梶石川郡潟津村戸籍吏高木松太郎↓宮本六右エ門、前田 吉右衛門へ親展 明治 34 年 4 月 22 日 一紙			1	

3	国勢調査申告書	大正9年10月1日	一紙	1
4	世帯主宮本六右衛門、内閣臨時国勢調査局 親類・家内・雇人等書上并雇銭覚	未詳	折紙	1
儀 礼				
5	長女安産報知等書狀下書	未詳	野紙	1
6	御見舞人等名書	9月9・10日	折紙	1
7	人名書	11月28日―12月3日	横帳	2
8	朝前・夕前の名書	未詳	折紙	1
9	朝膳献立并夕方献立	未詳	切続紙	2
10	献立	未詳	切続紙	1
(冠)				
11	元服御祝義帳(倅久松拾六才)	嘉永6年11月	長帳5	1
(婚)				
12	御祝儀入用等留帳	文久3年2月4日	長帳7	1
13	御祝儀二付諸事留帳	文久3年2月4日	長帳12	1
14	祝儀等書上帳	未詳	長帳8	1
15	六郎婚儀二付祝辞	明治41年3月(25日)	一紙	1
五十嵐内↓宮本六右エ門・六郎				
(葬儀・法事)				
16	御香典帳	文化2年閏8月9日	長帳5	1
17	御香奠之帳(母様六十壹歳)	文化13年10月11日	長帳5	1
18	御悔并香奠帳	文政13年7月15日	長帳9	1
19	御法事二付諸入用控帳	天保12年閏正月11日	長帳3	1
六右衛門宿				
20	御悔并御香奠帳(俗名かの四歳)		長帳5	1
21	御悔并御香奠帳(年齢三拾七歳 俗名今六右衛門)	明治4年8月14日	長帳9	1
22	御悔并御香奠(年齢十九才六右衛門娘すて)	明治7年5月28日	長帳5	1
23	香典交名簿(養母俗名ヤオ、齡六十七年)	明治7年7月12日	長帳7	1
24	葬式入用簿(養母俗名屋尾)	明治12年9月19日	長帳7	1
25	六右衛門 積立善菩提回向料寄納領収証	明治12年9月19日	一紙	1
26	信州善光寺々務職永代宿坊甚妙坊↓宮本六郎	大正11年3月21日		
27	法名覚	未詳	折紙	1
28	御香典書上	未詳	折紙	1
29	証書類 法名料等覚	未詳	切続紙	1
30	第一回石川競馬優等証	明治30年8月16日	用紙	1
31	畜産事務所(石川郡鶴来所轄競馬事務所)↓持主宮本六右衛門・騎手土原六三郎			
(宮本敬)				
32	修業証書(尋常小学校第一学年)	明治26年3月31日	用紙	1
33	石川県石川郡村立栗崎尋常小学校↓石川県平民宮本タカ			
34	修業証書(尋常小学校第二学年)	明治27年3月31日	用紙	1
35	石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本タカ			

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
32	褒状 栗崎尋常高等小学校長松井静之↓宮本タカ	明治27年11月3日	一紙	1
33	学習証書 石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本タカ	明治28年4月1日	用紙	1
34	卒業証書(尋常小学校) 石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校長古酒精一↓石川県平民宮本タカ	明治29年4月1日	用紙	1
35	尋常小学卒業候段殊勝ニ付懷中硯賞与状 栗崎尋常高等小学校↓尋常第四学年宮本タカ	明治29年4月1日	一紙	1
36	(宮本六郎) 学習証書 石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本六郎	明治28年4月1日	用紙	1
37	修業証書(尋常小学校第二学年)明治29年4月1日 石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本六郎	明治29年4月1日	用紙	1
38	修業証書(尋常小学校第三学年)明治30年3月31日 石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本六郎	明治30年3月31日	用紙	1
39	卒業証書(尋常小学校) 石川県石川郡村立栗崎尋常高等小学校長古酒精一↓石川県平民宮本六郎	明治31年3月31日	用紙	1
40	尋常小学卒業候段殊勝ニ付懷中硯賞与状		一紙	1
41	修業証書(高等小学校第一学年)明治32年3月31日 栗崎村役場↓尋常第四学年宮本六郎	明治31年3月31日	用紙	1
42	修業証書(高等小学校第二学年)明治33年3月31日 石川県石川郡栗崎村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本六郎	明治33年3月31日	用紙	1
43	優等証 石川県石川郡大河端青年同窓会↓石川県平民宮本六郎	明治33年8月10日	一紙	1
44	修業証書(高等小学校第三学年)明治34年3月30日 石川県石川郡栗崎村立栗崎尋常高等小学校↓石川県平民宮本六郎	明治34年3月30日	用紙	1
45	卒業証書(高等小学校) 石川県石川郡栗崎尋常高等小学校長山岡貞↓石川県平民宮本六郎	明治35年3月26日	用紙	1
46	高等小学校卒業候段殊勝ニ付帝国新玉篇賞与状 栗崎村役場↓高等第四学年宮本六郎	明治35年3月26日	一紙	1
47	勉励出席優等ニ付半紙贈与状 石川県栗崎村役場↓高等第四学年宮本六郎	明治35年3月26日	一紙	1
48	(宮本かほり・つや) 修業証書(尋常小学校第二学年)明治34年3月30日 石川県石川郡潟津村立北間尋常小学校↓石川県平民宮本かほり	明治34年3月30日	用紙	1
49	卒業証書(尋常小学校)	大正5年3月29日	用紙	1

石川県石川郡潟津尋常小学校長粟生仕作↓石川県平民宮本
つや

屋敷図(六右衛門)

50 大河端村六右衛門居屋敷図 嘉永6年2月上旬 続紙 1

51 宮本六右衛門宅地等之図 未詳 彩色 1

52 地割仕二付自宅地之図 明治13年 一紙 1

53 大河端村宮本六右衛門 未詳 朱入 2

作事(納屋、蔵)

54 納屋並建諸事記帳等 明治23年6月 長帳17 1

55 蔵建築二付諸事控帳 明治26年 長帳24 1

56 材木御通等 明治26年8月 横帳13 1

加賀石川郡粟崎材木商中島庄三郎・橋本文吉・西川磯右衛門・
田島伊兵衛・島尾惣一郎等↓宮本六右衛門

訴訟

57 私架場へ稲揚不可二付案内(明治23年)12月1日 切続紙 1

58 河私用埋立二付探偵復命書 明治24年5月21日 野紙 1

59 所有田地外溝渠土沙堆積ノ事件二付仕抹書 明治24年5月27日 野紙等綴3 1

宮本六右衛門↓石川県金石警察分署長石川県警部大塚親俊

60 川埋立方訴之取消願(明治24年) 野紙 1

61 守川宮拝借事件二付実地証明願 明治24年 野紙 1

62 ト六十九番ノ一・二・トノ六十六等田反別調べ 未詳 一紙 1

63 地租条例違反被告事件公判二付呼出状 明治24年6月30日 用紙 1

64 金沢区裁判所裁判所書記上坂千松↓宮本六右衛門 明治24年7月 用紙他 3

織部諸三偽証事件二付証人呼出并出頭状 附郵便送達証書

①20日(用紙)金沢地方裁判所予審判事高田鉄吉・裁判所書記水野余所松↓宮本六右衛門 ②21日(用紙)郵便局配達人示野外茂次郎↓金沢地方裁判所書記課 ③22日(切紙)宮本六右衛門↓予審判事高田

65 電信送達紙(送金依頼) 明治24年9月28日 用紙 1

フリベカイソウ↓ミヤモトロクエモン(封)金沢郵便電信局↓(宮本六右衛門)

66 金借用証書 明治24年12月11日 一紙 1

織部諸三↓貸主宮本六右衛門

67 通信省為替受領証書 明治24年12月17日 用紙 1

金沢郵便電信局長小野道一

68 祠堂金協成舎支払命令申請書(写) 明治26年4月 一紙 1

債権者宮本六右衛門↓金沢区裁判所判事小堀良景

69 支払命令送達通知書等 明治26年4月7・10・18日 用紙 3

金沢区裁判所裁判所書記吉松左衛喜↓宮本六右衛門

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
70	欠席裁判言渡書等裁判所決定・命令書	明治26年5月4・13・24日	罫紙・用紙綴等	5
71	金沢区裁判所↓宮本六右衛門・室田武夫 金沢区裁判所債権取立命令に伴う委任状等	明治26年5月	罫紙	6
72	書類送付費用領収書	明治26年7月16日	罫紙	1
73	書類送付費用督促(領収済)	明治26年10月6日	はがき	1
74	金沢区裁判所執達吏磯部朔平役場↓宮本六右衛門 督促手続き費用に関する覚并利子算用覚	明治26年	折紙	1
75	配当要求通知書 附郵便送達書	明治27年2月		2
76	宮本久四郎↓宮本六右衛門	明治16年10月12日	切続紙	1
77	五十嵐友儀↓宮本六右衛門	明治19・23・29年、未詳		8
通 信 文				
78	五十嵐友儀↓宮本六右衛門・室田武夫	明治26年5月	罫紙	6
79	清水正久↓本野仁平・宮本六右衛門	明治20年1月23日	切続紙	1
80	五十嵐友儀↓五十嵐すゑ	(明治20年)2月6日	切続紙	1
81	金丸↓宮本六右衛門	明治20年2月27日	切続紙	1
82	油谷茂三郎↓宮本六右衛門	明治20年12月13日	切続紙	1
83	藤田弥三郎(郎)↓宮本六右衛門	明治21年3月28日	切続紙	1
84	五十嵐友儀↓宮本六右衛門・妻すゑ	明治22年6月17日	切続紙	1
85	組織部諧三↓宮本六右衛門	明治24年	切続紙	9
86	八木義秋↓組織部諧三	明治24年	切続紙	1
87	尾山多市↓宮本六右衛門	明治24年10月4日	用紙・一紙	2
88	組織部諧三↓中村文雄	明治24年10月6日	はがき	1
89	天光向念↓宮本六右衛門	明治24年	切続紙	1
90	的場市左衛門↓組織部諧三	明治24年11月	切続紙	1
91	組織部諧三↓的場市左衛門・宮本六右衛門	明治24年12月	切続紙	3
①明治24年12月1日、一紙(2点)(封)↓的場市左衛門				
②明治24年12月20日、封のみ				
③同年11月、切紙				
④同年12月20日、封のみ				
⑤同年10月17日、用紙・切紙(2点)				
⑥同年10月27日、切続紙				
⑦同年10月31日、切続紙				
⑧同年10月27日、切続紙				
⑨同年10月27日、切続紙				
⑩同年10月27日、切続紙				
⑪同年10月27日、切続紙				
⑫同年10月27日、切続紙				
⑬同年10月27日、切続紙				
⑭同年10月27日、切続紙				
⑮同年10月27日、切続紙				
⑯同年10月27日、切続紙				
⑰同年10月27日、切続紙				
⑱同年10月27日、切続紙				
⑲同年10月27日、切続紙				
⑳同年10月27日、切続紙				
㉑同年10月27日、切続紙				
㉒同年10月27日、切続紙				
㉓同年10月27日、切続紙				
㉔同年10月27日、切続紙				
㉕同年10月27日、切続紙				
㉖同年10月27日、切続紙				
㉗同年10月27日、切続紙				
㉘同年10月27日、切続紙				
㉙同年10月27日、切続紙				
㉚同年10月27日、切続紙				
㉛同年10月27日、切続紙				
㉜同年10月27日、切続紙				
㉝同年10月27日、切続紙				
㉞同年10月27日、切続紙				
㉟同年10月27日、切続紙				
㊱同年10月27日、切続紙				
㊲同年10月27日、切続紙				
㊳同年10月27日、切続紙				
㊴同年10月27日、切続紙				
㊵同年10月27日、切続紙				
㊶同年10月27日、切続紙				
㊷同年10月27日、切続紙				
㊸同年10月27日、切続紙				
㊹同年10月27日、切続紙				
㊺同年10月27日、切続紙				
㊻同年10月27日、切続紙				
㊼同年10月27日、切続紙				
㊽同年10月27日、切続紙				
㊾同年10月27日、切続紙				
㊿同年10月27日、切続紙				

104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92
大酢又次郎↓宮本六右衛門 明治39年・未詳	(不詳) 〔慰問状頂戴二付礼状(後欠)〕 明治39年) 9月9日 一紙	西井甚右衛門↓宮本六右衛門 明治39—41年、未詳	夷藤小三郎↓宮本六右衛門 明治39—41年	中村六郎↓宮本六右衛門 明治30年7月7日 切続紙	中村六郎↓中村伝右工門 明治30年6月17日 切続紙	伊関与吉郎↓大酢又次郎 明治29年 封のみ	山路繁男↓宮本六右工門 明治27年3月18日 はがき	山路繁男↓宮本六右工門・本野仁平・中村伝右衛門・ 南谷次郎右衛門・八十塙・其他貴村諸君(封)↓宮本六右工門 明治27年3月10日 続紙	湯原市次↓本野仁平 明治26年 2	由水平兵衛↓宮本六右衛門 (明治26年) 5月8日 罫紙	中村文雄↓宮本六右衛門 明治25年6月5日 一紙	宮本仁三郎↓宮本六右衛門 明治25年5月14日 封のみ
3	1	9	6	1	1	2	1	1	2	1	1	1

120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105
日本赤十字社加入依頼 (明治27年) 5月25日・6月1日 印刷	栗崎小学校同窓会↓宮本六郎 未詳	善↓前田 本仁(本野仁平)↓宮本六右衛門 未詳	善↓前田 未詳	前田↓宮本 ①11月1日、彩色絵入・切続紙 ②未詳、切紙	遠田俱成↓五十嵐善太郎 8月18日 切紙	田上直吉↓宮本六右衛門 6月18日 切続紙	中村助右衛門↓宮本六右衛門 6月9日 罫紙	佐賀野佐太郎↓宮本六右衛門 5月19日 切続紙	荒木又右衛門↓宮本六右衛門 5月1日 切続紙	(五十)嵐寅三郎↓六右衛門 3月□日 切続紙	夷藤小三郎↓宮本六右衛門・宮本次右衛門 (封)↓宮本六右工門 明治41年8月14日 用箋2	夷藤小三郎↓宮本六右衛門・五十嵐捨 (封)↓宮本六右衛門 明治41年6月20・30日 用箋3・2	松田吉三郎↓宮本六右衛門 明治41年3月24日 切続紙	米林伊三郎↓宮本治右衛門 明治41年3月17日 用箋2	夷藤よか↓宮本六右衛門 明治40年4月23日 切続紙
2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨 付	点 数
121	赤十字社へ入社ノ件ニ付役場へ来訪願	明治27年6月13日	切続紙		1
122	日本赤十字社締盟状 日本赤十字社総裁 大勲位功二級 載仁親王・日本赤十字社長 正二位勲一等伯爵 松方正義↓宮本六郎	明治39年12月31日	印刷		1
123	宮本六郎分締盟状送付ニ付本人へ伝達願	明治40年3月15日	印刷		1
124	日本赤十字社石川支部石川委員部↓潟津分区事務所 日本赤十字社締盟状 日本赤十字社総裁 大勲位功二級 載仁親王・日本赤十字社長 正二位勲一等伯爵 松方正義↓宮本秀雄 (封) 高木新次郎↓宮本秀雄	明治40年8月31日	印刷		1
125	大正参年第参期年釀金受領証書	大正3年11月27日	印刷		1
126	日本赤十字社石川支部 石川県石川郡長柴田是↓宮本秀雄				
預貯金等					
127	預入金証 祠堂金協成舎↓大河端村宮本六右工門 御依頼口上書并從來預入金改革法	明治16(―18年)	長帳		1
128	御依頼書 祠堂金協成舎	明治17年3月	印刷		2
129	哀願書并改革方法承諾証 祠堂金協成舎 (封) 祠堂金協成舎↓大河端村宮本六右衛門	明治18年9月	印刷		1
130	①祠堂金協成舎 ②↓祠堂金協成舎 貯金仮受取書 分区委員 南屋嘉太郎↓宮本六右衛門	明治37年4月	横帳		1
131	貯金登記済通知書 預ケ人 宮本六右衛門	明治37年4月28日―39年1月31日	印刷		19
132	愛国婦人会 明治三十七年第二期分年釀金領収証 愛国婦人会 石川支部石川分区(潟津村委員) 高木新次郎 ↓宮本とん	明治38年1月21日	印刷		1
133	株主總會通知書 株式会社石川県農工銀行取締役頭取 男爵本多政以↓宮本六右衛門	明治41年1月5日	印刷		1
134	石川県農工銀行上半期利益配当金受取方通知書 潟津村役場↓字大河端区長	明治41年7月24日	印刷		1
135	第一回保儉金領収証 宮村伝次郎↓宮本六右衛門	未詳	切続紙		1
136	日記類 万座帳・万日記 (取引簿・金銭入払・報恩講志・毎日小遣・諸上納払・人歩勤等) 宮本	明治11年	長帳		69
137	諸事控帳 宮本六右衛門	明治20年1月(―3月)	罫紙綴		11
138	諸事算用帳 当座帳・万日記	明治3―5年 大正3―5年 大正5年1月	長帳		4
139			長帳		97

151	メ高残り受取	(明治36年)12月 金沢市染業上村久太郎↓桶町五十嵐	切続紙	1
150	〔明治三十二年九月八日の洪水御見舞・金諸払・雇人等ノ口・産米・諸品貰受記・諸品建上記〕 宮本六右衛門	大正6年1月 長帳71	1	
149	当座帳・万日記	〔金銭入払・雇人控口・精米記・諸事・進品・貰品〕 宮本六右衛門	大正9年1月1日 横帳14	1
148	当座記	大正9年1月1日 横帳14	1	
147	衣食住等諸品金銭遣取	米・もち代銀算用 寅4月24日 切紙	1	
146	米・もち代銀算用	福長(堀川揚場 福田長兵衛)↓大川 六右衛門 寅7月 切紙	1	
145	かさ并帆木綿前掛代銭請求	福光屋嘉兵衛↓大河端村六右衛門 未10月15日 切紙	1	
144	反物等売上代銀受取	井波屋宗兵衛↓上様 西12月 切続紙	1	
143	きんふはんきり・しまわたり御渡并代銀受取	糸ひすや↓をこはためや六くさま 亥5月1日 切紙	1	
142	竝等代銀受取	柏野四郎兵衛↓上様 7月27日 切紙	1	
141	布島等代銀請求	由雄与右衛門↓上様 未詳 折紙	1	
140	米・大豆等代銀書上	未詳 切紙	1	
139	手取高算用覚	大河端 六右衛門分 横帳12	1	
138	御酒覚帳	竹田↓宮本六右工門 明治34年2月(―36年)	1	
137	メ高残り受取	(明治36年)12月 金沢市染業上村久太郎↓桶町五十嵐	切続紙	1
136	助資金残金領収証	明治41年10月29日 金沢市五十人町 北光社↓宮本六右衛門	切紙	1
135	たわし代金受取	辰5月23日 与三治↓上様	切紙	1
134	梅・塩代金等付書	巳8月―未1月 午8月14日 切紙	1	
133	歟柄代金受取	柿沢太一郎↓大河端村宮本六右衛門 午8月 切続紙	1	
132	初診料并薬代領収書	林医院↓宮本六右衛門 午12月30日 切紙	1	
131	棒壺本代金受取	柿沢太一郎↓大河端村宮本六右衛門 未8月15日 切紙	1	
130	平くハ代金受取	カドの↓宮本六右衛門 戌2月 切続紙	1	
129	酒・料理代金等請求	谷与兵衛↓大河端村邑分 戌7月19日 切続紙	1	
128	すし代金請取并品物御渡書	窪田↓御客様 亥2月5日 切続紙	1	
127	晒てシャツ壺枚代金受取	越後喜左衛門↓宮本 2月 切続紙	1	
126	のり岩等代金書上	宮本次右衛門↓宮本六右工門 3月9日 切紙	1	
125	品物代金請求	鈴木小三郎↓宮本 3月12日 切続紙	1	
124	赤目板付等諸品代金受取	堀川 安江甚助↓上様	切続紙	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
165	金子受取 大海治郎兵衛↓宮本六右衛門	3月20日	切紙	1
166	トゑ・つる共代金受取 中村↓	4月16日	切紙	1
167	ふ・椎茸等食材代金請求 綿谷↓藤田	4月27日	切続紙	1
168	あめ・白さ卜等諸品代金書上 藤田	4月27日	切続紙	1
169	金銭請取 金沢市横安江町津沢貞吉↓宮本	4月27日	切続紙	1
170	金銭受取 東力↓	4月29日	切紙	1
171	糸・中入紙・頭板代金并工料書上 潟田次三郎↓宮本	4月	切続紙	1
172	帯かけ代金請取 越清↓宮本	5月8日	切紙	1
173	金銭受取 綿谷↓藤田	5月20日	切続紙	1
174	ひわ・かくてん等食材代金受取 綿谷↓藤田	5月22日	切続紙	1
175	ひわ・角天等代金受取 藤田↓	5月22日	切続紙	1
176	かくてん・平茸等食材代金書上 綿谷↓藤田	5月	切続紙	1
177	鯛等魚代金請求	5月	切紙	1
178	大長↓宮本 厚物椀増金等請取	6月23日	切続紙	1
179	高瀬光一↓宮本 赤かれ等魚代金受取 大長↓宮本	7月14日	切続紙	1
180	河端村分もち代金請取 中谷佐吉(中佐)↓河端村分	8月13日	切紙	1
181	料理代金請取 中佐↓大川端村宮本六右衛門	8月14日	切続紙	1
182	子供あした立替追銭等代金請取 増田店↓大河端宮本	8月14日	切続紙	1
183	平鋏・はがま等代金受取 中村初三郎↓大河端宮本六右工門	8月15日	切続紙	1
184	一月から八月分酒代金受取 藤田伊三郎↓宮本六右工門	8月19日	切紙	1
185	一月から八月分酒代金受取 藤田伊三郎↓宮本六右工門	8月20日	切続紙	1
186	薬代受取 中村↓大河笠間安太郎	8月31日	切続紙	1
187	天笠木綿代金受取 蓮村↓大川端宮下	8月	切紙	1
188	二月から八月分酒代金受取 藤田伊三郎↓宮本六右衛門	8月	切続紙	1
189	かつお等代金書上 中佐↓大河端村宮本六右衛門	8月	切続紙	1
190	女物下駄等代金請取 増田店↓宮本	8月	切続紙	1

191	二月四日ヨリ三月廿八日迄の金銭請求	8月	切紙	1
192	越喜店↓大川端 宮本六右衛門 半綿代金受取	9月5日	切紙	1
193	能久店(金沢市安江町呉服洋服能久商店)↓上 中紺む地壱足代金受取	9月8日	切紙	1
194	木越店↓宮本 九月分迄出金請求 (高瀬光一郎)↓宮本 (9月20日以降)		切紙	1
195	預りなまず紛失の件御尋二付達	9月25日	切続紙	1
196	拾月分迄代金請求 高瀬光一郎↓宮本	10月5日	切紙	1
197	夜具縞等代金領収書 鈴木小三郎↓上様	10月12日	切紙	1
198	掛色等代金請求 鈴木店↓宮本	12月24日	切続紙	1
199	合羽代金請求 鈴木店↓宮本	12月24日	切続紙	1
200	布紺縞一反洗はり代金請求 蓮村↓大川端 宮下	12月31日	切紙	1
201	瓦斯等代金請求 鈴木□右衛門↓	12月	切続紙	1
202	八月から十二分酒代金受取 竹田↓宮本六右衛門	12月	切続紙	1
203	はべん三本等代金請求 新川屋右衛門(金沢堀川 専扇商店 新川重太郎)↓大川 宮本	12月	切紙	1
204	拾一月分代金請求 高瀬光一郎↓宮本	12月	切続紙	1
205	目立并カスガイ代金請求 中村↓大川 宮本六右衛門	12月 日	切続紙	1
206	藤江由太郎方江の飯米并衣類代金請求 伊関↓宮本	未詳	切続紙	1
207	竹の子等食材書上	未詳	切紙	1
208	醤油・酒等買入書上	未詳	折紙	1
209	返済金・頼母子金等中勘払証	未詳	切続紙	1
210	金銭受払書上	未詳	切紙	1
211	金銭書上	未詳	折紙	1
212	金銭書上 ↓宮六	未詳	切紙	1
213	算用覚	未詳	切紙	1
214	入金・不足金等書上(前後欠)	未詳	切続紙	1
215	長兵衛ノ不足金受取等書上	未詳	切紙	1
道 具 類				
216	棹秤 大河端村宮之前六右衛門	文政7年7月改	棹秤	1
217	草履札 宮前六右衛門	未詳	木札	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	墨付 点数
14 絵 図				
(屋敷図)				
1	又四郎屋敷持歩等書入図	文久元年12月		1
2	石川郡鞍月組大河端村百姓伝右衛門家絵図并家建替願 (慶応4年)辰3月			1
	大河端村百姓伝右衛門↓田辺次郎吉 (奥書) 肝煎六右衛門			
3	新道取付二付地割図 (裏書) 田辺次郎吉		彩色	1
4	勘右衛門屋敷・弥右衛門納屋等地割図		彩色	1
	(裏面)「御明 宮前六右衛門」			
5	居屋敷間取図 (淵人移)	未詳		1
6	屋敷間取図等	未詳		3
(農業図)				
7	蟻地・先田・横手・善亀田地境界図 (大河端村)	未詳	彩色	1

分類別点数一覧表

分 類 項 目	点数	分 類 項 目	点数	分 類 項 目	点数
1 支 配	41	変地	5	都市	5
御用	22				
藩主等出行	7	6 土 木	19	12 学 芸	99
村	8	川除・用水	10	教科書	27
諸事留帳類	4	道路・橋	4	学事	25
		人足等	4	文芸	41
2 土地・貢租	169			書画	6
草高・上納等	19	7 産 業	18		
小物成・夫銀・万雑	6	農業	8	13 宮本家	292
収納・御蔵・蔵宿	26	漁業	1	相続・家族構成等	4
新開	5	鉱業	5	儀礼	26
持高等	87	製造業	4	証書類	21
土地売買	26			屋敷図	5
		8 金融・貸借	37	作事	3
3 県・郡・村制	83			訴訟	33
県・郡	19	9 水 運	103	通信文	81
村	64			赤十字	7
4 戸 口	7	10 宗 教	33	預貯金等	30
人別帳	3	仏教	28	日記類	6
送り状等	4	神道	5	衣食住等諸品金銭遣取	74
				道具類	2
5 災害・救恤	18	11 地理・歴史・紀行	30		
災害	3	郷土資料	7	14 絵 図	9
救恤	10	道中記・諸国名所	13		
		世界図・日本図	5	計	958

解 説

一、概 要

宮本家文書は、藩政後期に石川郡大河端村（現金沢市大河端町）の肝煎役および荷宿を勤めた宮本六右衛門家に伝えられた文書類である。宮本家は肝煎役を勤める以前から浅野川の舟運に関わっており、舟運関係資料は宮本家文書の大きな特徴である。

総件数は八〇五件（総点数九五八点）。近世資料は三一三件（三四七点）、近代資料は四九二件（六一一点）となる（年未詳史料は、宛先差出の名字の有無や金額表記等から近世・近代に分けた。紙以外の資料では、木札（鑑札等）・棹秤・脇息・草履・版木・印章がある。資料の多い順に、13 宮本家、2 土地・貢租、9 水運となる。

宮本家は、史料で確認される限り、代々六右衛門を名乗り四代を数える。肝煎役は初代六右衛門が文化二（一八一四年）から勤めた。六右衛門は村内の舟運を纏める荷宿四人の内の一人で、肝煎を勤める四十年以上前から荷宿を営業していたとされる。二代目六右衛門（旧名九郎右衛門）は、嘉永六（一八五三年）三月、四五歳の時に初代六右衛門から持高を譲り受け、名を改め肝煎役を引継いだ。三代目六右衛門（旧名久松）には、元服及び婚礼時の祝儀帳が残っている。肝煎役就任は確認できないが、明治四（一八七一年）八月に肝煎職を組合中へ引継いでいる（史料 1・29）。屋敷の北側を流れる舟通川には荷揚場が設けられており、六右衛門家の納屋や蔵には、金沢の堂形や町蔵に収める米などの重要な荷物が運び込まれたようである（13・50・51）。同じく屋敷北隣には社（大河端八幡神社）があり、「宮下」や「宮前」と記された史料もみえることから、名字の由来になったと考えられる。「宮本」の初見は明治六年のことである。藩主などが鷹狩や栗崎の御旅屋などへ行く折には、六右衛門宅へ立

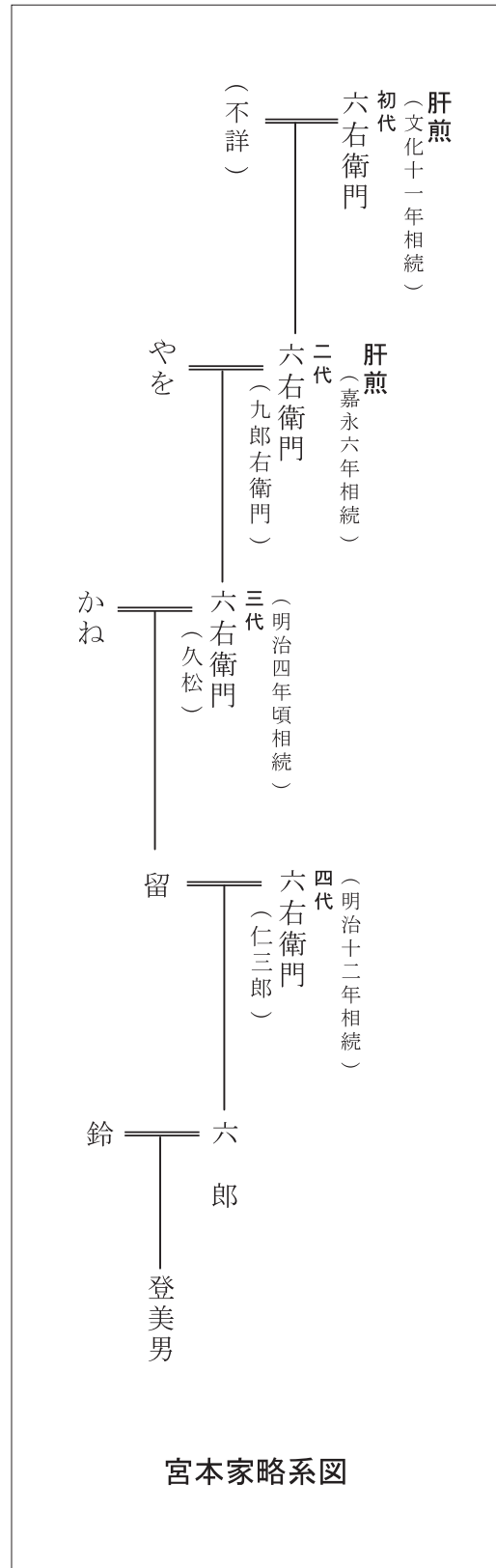
ち寄り休憩されることもあった（1・30等）。『御草履』（1・16）は、一三代加賀藩主前田斉泰が使用したと伝えられるものである。安政二（一八五五年）、同七年、明治六（一八七三年）には上方を旅し、道中記録を残している。明治以降も舟運を続け、また村政面では、四代目六右衛門（旧名仁三郎）が大河端村総代、大河端村区長、潟津村会議員、石川郡会議員などを勤めた。

『加能越三箇国高物成帳』によると、藩政期、寛文一〇（一六七〇）年の村御印における大河端村の草高は七五九石、免五ツ九歩。小物成は野役六三匁。江戸後期には、草高六三二石五斗となっている。嘉永六（一八五三年）の村内家数は九二軒、内百姓家数六八軒、頭振家数二四軒であった（2・47）。村高に比べて人口が多いため耕作だけでは生活できないという事情から、村民の多くは田畑と舟稼で生計を立てていたようである。

大野湊や栗崎、河北潟から金沢へ運ばれる諸物資は、浅野川下流左岸に位置する大河端村で一度荷揚げされ、浅野川を遡れる曳舟に積み替えられ、金沢城下の堀川揚場まで運ばれた。慶応元（一八六五年）年には、藩用・商用舟運の実績を理由に、宿場扱いの村とされるように宿立願を出している（9・8）。陸上交通面では、栗崎道から須崎路への分岐点であった。

『加賀国石川郡村誌』（当館所蔵）によると、明治の初め、村内の小舟は百四艘を数え、農業を生業とする一三八戸の内八六戸は舟稼業を兼ねていた。村内を流れ大野川に注ぐ舟通川は、三〇石積以下の小舟ならば通行できる川であり、金沢へ向かう舟積荷物はこの川を遡り村内の荷揚場へ運ばれた。

大河端村は水運に適した土地である一方、浅野川下流に位置するため度々洪水の被害に遭った。嘉永七年、明治三二年の洪水記録が残っている（1・30、13・139等）。



二、浅野川舟運関係資料について

藩政期には鞍月組(十村は田井村次郎吉)に属した。明治四(二八七二)年七月、廃藩置県により金沢藩は金沢県となる。同五年二月、石川県に改称後、石川県第七区四番組所属となる。同九年一月、区画改正により第一一大区小一区所属。同一年、郡区町村編制により石川県所属。同二二年の市町村制施行に伴い、六月に大河南・北間・須崎・西蚊爪村が合併し潟津村が成立。大河南は潟津村の大字となり、大河南に村役場が置かれた。昭和一〇(一九三五)年、金沢市に編入された。

なお水運に関する資料は、1支配、8金融・貸借、13宮本家「日記類」にも見られる。13宮本家「通信文」には、訴訟に関する史料、北海道や樺太での漁業史料なども収められている。

大河南村は金沢城下に搬入される荷物の中継地であり、浅野川舟運の始点の一つだった。村には「荷宿」を称して舟運を纏める者がいた。荷宿は株を譲ることで代わり、藩政末期には六右衛門(大河南村肝煎・仁兵衛(組合頭)・次兵衛(組合頭)・弥三右衛門(長百姓)の四人が荷宿を勤めている。荷宿の成立や仕組みに関しては、特に西蚊爪村・東蚊爪村との争論や自村内での争論史料に詳しい(9・9・19等)。

大河南村を経由する荷物は、大野川(潟尻川)から舟通川を遡り、村内の荷揚場へ運ばれた。荷物の管理は荷宿が行い、荷宿付稼人が舟運を請け負った。浅野川を遡上できる川舟に積み替えられた荷物は、曳舟で終点の堀川揚場まで運ばれた。堀川揚場からは陸持で

金沢所々の届け先まで運ぶほか、金沢馬借に引き継ぐこともあったようである。

宮腰湊や大野湊、粟崎からの荷物には、宮腰御蔵の米や塩、能登からの炭や牧木（薪）、四十物、材木などが見られ、「大野町問屋ヨリ金沢届之諸品」約二六品を挙げた史料もある（9・16）。他国から大野湊に入った砂糖、鉄、家具櫃などの「大番（判）荷物」や東北産の材木は、宮腰宿抜荷物として、たびたび宮腰馬借の差押えに遭い、争論の元になっている（9・1・24・3・4）。

河北潟を下された荷物は、主に河北郡、越中国砺波郡や能登国羽咋郡の御収納米（御蔵米と町蔵米）である。今石動町蔵米や津幡御蔵米などは津幡から川を下して川尻村へ運ばれた。高松町蔵米や今浜・木津御蔵米、飯山・子浦米のほか、今石動町蔵米もまた内日角村へ運ばれている。潟に面した川尻・内日角両村から大河南端村へ舟積された。堀川揚場からは堂形御蔵や町蔵へ陸持された（9・7・21等）。

嘉永三（一八五〇）年には、御収納米の舟積をしている潟縁の村々へ「御収納米舟積運送見合札」が渡されている（9・9・26）。御収納米の舟運は毎年願出て承認を得ていたようであり、御算用場↓加州御郡奉行もしくは改作御奉行↓十村中や十村（田井村次郎吉）↓大河南端村肝煎六右衛門へと荷物の縮方を命じている。六右衛門は、嘉永七年三月に津幡伝馬肝煎、安政三（一八五〇）年二月には高松村伝馬肝煎の印鑑証明を受取り、越中引寄米や高松町蔵米のさし紙改め（印鑑見合せ）を命じられている。同年正月には、内日角村米宿からの今浜御蔵米を見届けている（1・30）。

御収納米の他には、河北潟周辺の野灰や高松の素麺、能登からの炭や薪などが内日角村や大崎村から舟運されたようである（1・30等）。商用荷物の潟下りは、宿駅保護のため津幡宿が取り締まり、津

幡宿への口銭納入と十村などの指紙（許可書）を必要とした。湖通舟役を課せられていた内日角村は、米・塩・魚の公用荷物の舟積をしていたが、商用荷物の舟積は禁じられていた。宿抜荷物の監視のため、河北潟周辺や粟崎村、浅野川河岸の要所には、津幡宿の見咎人が置かれていたようである。嘉永元（一八四八）年には、潟舟積荷物の改番所が粟崎前に立てられ、大野や粟崎から金沢へ向かう荷物も改めを請けて大河南端村に入るようになった（9・4）。

津幡宿を通さない商用荷物の潟下りは認められていなかったが、次第に緩和されたようである。万延元（一八六〇）年閏三月には、潟縁野灰を船積で売る時には「潟下御入り」を願い上げて御聞届を請けなければならぬこと、大場村の「見廻り人」がいて「出津書」のない商品は取上げられることになっている。出津書は「御指紙」とも記され、出津を願うて聞届けられた証として加州御郡奉行の裏書きがあつたようである。また文久二（一八六二）年には、高松村人から買請けた素麺の内日角からの船積と、大河南端から内日角への焼灰の舟積が願上られている（1・30）。

荷宿の営業には、運賃稼ぎ目的の荷物の取り合いを原因とする争論が付きものだ。争論相手には、宮腰町（馬借）、西蚊爪村・東蚊爪村（潟下し舟稼人）、金沢中嶋町・浅野中嶋村（陸持）などが見られる。宮腰馬借との争いの根本には宮腰湊と大野湊の対立があり、両湊の争論史料も残っている（9・1・24）。宿立てされていない大河南端村が大野湊から金沢へ舟運していることも非難の的とされた。西蚊爪村・東蚊爪村に対しては、両村人が舟積稼を新たに始めたとして、大河南端村が差止めを求めたものであり、大河南端村の正当性の根拠として舟運の来歴が述べられている（9・9・12）。堀川揚場近くの中嶋町人・浅野中嶋村人に対しては、堀川揚場から金沢所々へ運ぶ荷物を横取りして「町持」しないように求めたもので

ある(9・13・14)。

藩政末期には、大河端村内でも荷宿の営業をめぐる争論が起こっている。争論は、三人いる組合頭の内一人だけ荷宿株を持たない弥右衛門が、米・四十物以外の荷物は荷宿を通さずに舟稼人の直応対とすることを、荷宿に対して求めたことに始まる。荷宿付稼人も巻き込んだ一連の争論は、慶応二(一八六六)年から明治一(一八六九)年三月までの史料が残っている(9・18・20)。

明治五年七月、太政官布告が出され、伝馬制度は同年八月晦日限りで廃止となり、廃止後の宿駅には相対賃金を以て人馬継立方を取り扱う陸運会社が設立されることになった。内日角村・大崎村合同の陸運会社(同六年一二月設立)は、陸運と併せて河北潟舟運も行っていた。宮本家文書には、金石駅と記された陸運会社の鑑札がある(9・99)。道路の改修や明治三十年代の鉄道の整備を境に舟運の利用は減少していったようである。宮本家に残る舟運の帳簿類や取引証文などは大正の初めまで確認できる。主な取引相手としては、浅野中嶋村の鋳物師武村弥吉、金石(大野)の問屋五宝屋又四郎がみられる。

(以上、見澤)

三、地頭割について

「地頭」という近世文書、特に幕末期ではあまり見られない表現を使つた嘉永七(一八五四)年九月改の「御地頭割」(2・27)について関係史料とともに触れておきたい。

史料は墨付き七丁の長帳(12×34cm)である。内容ははつきりと明示していないが大きく二つに分かれる。後半部の内容は明確ではなく未検討であるが、前半部は一二名の藩士毎にそれぞれ記載されており、最初の二名については以下の通りである。

- ① 加藤波江様
- ② 高
- 一、式拾石壹升六合
- ④ 内
- ④ 壹石八
- 拾九石壹升六合
- ③ 藤右衛門斗
- 六右衛門
- 六右衛門斗候也
- ① 井上政吉様
- ② 一、式拾石壹升六合
- ④ 内
- ④ 拾三石六合
- ③ 庄三郎
- ⑤ 油ヤ行
- ⑤ 五石
- ⑤ 四石
- ⑤ 三郎右衛門斗
- ⑤ 七石壹升
- ⑤ 小百
- 壹石
- 弥右衛門斗
- ⑤ 八石壹升
- 内式石四斗七升壹合
- ⑤ 甚之助
- ⑤ 三石式斗五升式合
- ⑤ 八左衛門
- ⑤ 六斗五升
- ⑤ 嘉兵衛
- ⑤ 六斗八升
- ⑤ 伊兵衛
- ⑤ 七斗八升
- ⑤ 善四郎
- ⑤ 式斗七合
- ⑤ 左助
- ⑤ 八石壹升

〔後略〕

その構成は、①様で称される藩士名、②石高、③百姓名、④石高の内訳および百姓名、⑤は蔵宿名である。①の加藤波江は文久初

め頃の『加賀藩組分侍帳』（金沢文化協会 昭和12年）によれば一五〇石取りで天保八（一八三七）年家督相続している。井上政吉も『諸士系譜（当館所蔵）』によれば一五〇石取りで天保八年に相続している。藩士の名前は加藤・井上を含め一二名、中には人持組二五〇〇石の成瀬甚五左衛門の名もみられる。それらに②④が記されており、⑤蔵宿名がほぼ入っている。

②の石高一二名分を合計した四一〇石六斗六升一合について、「嘉永六年分算用帳控」（1・24）には以下のような記載がある。

草高六百三拾壹石五斗

免 六ツ

一、四百廿壹石三斗三升七合

定納・口米

内 四百拾三石七斗七升壹合

御地頭様付／町蔵宿納

但 壹石高ニ／六斗五升五合二勺 御地／「虫損」

ノ七石五斗六升六合

御堂形納

「地頭割」の合計四一〇石六斗六升一合は、「御地頭様付町蔵宿納」の四一三石七斗七升一合（＝草高×〇・六五五二）にほぼ合っている。

③④の百姓名については、②の高を納める百姓で、③はその主たる者、④は残りを配分した高およびそれを納める者である。③は加藤波江の場合は六右衛門、井上政吉の場合も庄三郎で、他例では百姓が一〜三人宛てられ、それぞれ高が記されている。④は残った高を加藤波江の場合は藤右衛門一人であるが、多くは井上政吉のように複数人で請け、多い場合は九人の百姓に分けられている。

蔵宿については井上の場合主体は津幡屋に納め、一部油屋に納めているように一藩士に一蔵宿とは限らず、二軒の場合もある。また、加藤波江分のように記されていない場合や、蔵宿ではなく「堂

形入」の場合もある。安政六（一八五九）年一二月の「蔵宿過不足調理帳」（2・29）では、加藤波江分約二〇石の内八石余の分が蔵宿松任屋行きとなり、堂形入や蔵宿に納めない場合、蔵宿は関係ないので記されていない。また、蔵宿が各藩士ごとに、収納した日付・石数・百姓名を記し割印した安政六年分の「御収納米請取通」（2・30）という史料もあり、これらをもとに先の「蔵宿過不足調理帳」等が作成されたのであろう。

つまり、「御地頭割」その他関係史料から、村御印で定められた年貢の収納システム、年貢納入の村請制の一実態が窺えそうである。知行地を各村に所付された藩士（給人、大河端村の場合12家、それぞれの高を村が百姓の持高で振り分ける作業、これが「地頭割」なのであろう。振り分けられた百姓は藩士の知行米を管理する蔵宿にそれぞれ収納し、村がその過不足を管理しているのである。

なお、肝煎六右衛門とその「地頭」である加藤波江家の関係について、先に述べたように収納米の一部は蔵宿に納められているが、主体は堂形に納められている様子もない。蔵宿の介在がないとは言いが切れないが、加藤波江（台所等）から六右衛門に宛てた「米受取」（8・10・16・17・22）や「年賦証文」（8・3）、「年賦米証文」（8・23）等の史料は、村から切り離された地頭・藩士と有力百姓との個人的な関係が生じていることも窺えそうである。単なる肝煎ではなく荷宿であることも関わってくるのであろうか。

以上、「地頭割」に関する一部の史料を厳密な検討もせず概観したが、給人の知行地・蔵宿・村請など様々な問題を考える上で、宮本文庫は、幕末における村政の実態を示す良好な史料群が存在している文庫といえる。

（小西）

宮本文庫目録

平成二十年三月

編集・発行

金沢市立玉川図書館
近世史料館

〒920-0863 金沢市玉川町二番二〇号

電話〇七六(二二二)四七五〇

FAX〇七六(二二二)六九三八

印刷所

田中昭文堂印刷株式会社
電話〇七六(二六九)七七八八
FAX〇七六(二六九)七三一

表紙	レザック66	らくだ	175kg (四六判)	見返し	再生上質紙	110kg (四六判)
本文	再生書籍用紙		70kg (四六判)	写真	再生コート	135kg (四六判)